Tokyo Women's College of Physical Education & Tokyo Women’s Junior College of Physical Education.

# 2025 履修ナビ

東 京 女 子 体 育 大 学

東京女子体育短期大学

# 目　次


Ⅰ　建学の精神と３つのポリシー
1　建学の精神 …… 1
2　教育理念 …… 1
3　教育目的 …… 1
4　教育目標 …… 1
5　ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） …… 2
6　カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針） …… 3
7　アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針） …… 4

Ⅱ　授業等
1　授　業（授業時間，授業クラス，授業ガイダンス，通常授業，補講，学生証の携行） …… 6
2　試　験（一般的注意事項，追試験，再試験，試験時の学生証の提示，各試験後の対応） …… 9
3　成　績（成績評価基準，成績照会，GPA 制度，単位保留等特別な配慮） …… 10
4　３年次進級要件 …… 12
5　卒業要件と学位 …… 12
6　担任制度とゼミナール（担任制度（グループ担任），ゼミナール（ゼミ担任），オフィスアワー） …… 12
7　教務事務一般に関する注意事項（教科書購入，教務課に届ける事項） …… 13
8　科目等履修生（資格･出願手続き，登録料等納入金，履修期間･単位数等） …… 14

Ⅲ　履修登録
1　履修の基本事項（学年・学期，授業科目（開講期間），授業科目（履修区分），授業形態，授業時間と単位数，単位修得までの流れ，シラバス，履修登録単位数の上限 …… 15
2　授業科目表と履修・修得単位 …… 17
3　履修計画と履修登録の留意事項（履修登録の留意事項，履修手続きのポイント） …… 19
4　授業時間割表の見方と自分の時間割のつくり方 …… 20
5　履修登録の手続きと登録の完了（履修登録の流れ，履修登録の追加取消等） …… 20

Ⅳ　その他
1　専攻コース …… 22
2　ゼミナール・卒業研究 …… 24
3　履修体系［大学］・進路希望に即した履修モデル［短期大学］ …… 25

Ⅴ　授業科目表
1　大学体育学部 …… 29
2　短期大学こどもスポーツ教育学科スポーツ教育コース・こども教育コース …… 32
3　履修登録単位数の上限除外科目 …… 36

Ⅵ　教職課程・保育士課程
1　本学で取得できる教育職員免許状・保育士資格 …… 39
2　教育職員免許状・保育士資格の取得要件 …… 39
3　必要な履修科目 …… 39
4　教育実習 …… 39
5　保育実習 …… 40
6　介護等体験 …… 40
7　教育職員免許状の申請手続 …… 41
8　保育士資格の申請手続 …… 41

Ⅶ　取得可能な資格
1　資格取得の意義 …… 46
2　取得できる資格 …… 46

Ⅷ　ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」
1　アプリのインストール …… 48
2　アプリの起動手続き …… 48
3　アプリにログイン …… 48

# Ⅰ　建学の精神と3つのポリシー

## Ⅰ-1　建学の精神

本学園は、日本初の女子体育教師養成学校として創設され、創設時から音楽を応用した体操遊戯を取り入れ、一世紀以上にわたって社会に貢献してきました。

建学の精神は、**「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」**です。これは、藤村トヨの女性観、教育観により確立したもので、現在でも本学園では「女性の感性を生かした体育の実践」を重視しています。「多弁」と「巧言令色」を嫌い「不言実行」を大義に、思慮深くて高潔な人格形成を目指した藤村トヨは、学生と寝食を共にしながら全人教育を実践してきました。今日でも、この全人教育は本学園の教育信条として学生指導の大きな指針となっています。また、健康の秘訣として藤村トヨが提唱した「腰伸ばせ即腹の力」の教えは、事における精神的構えとして現在でも本学園を象徴する教訓として生きています。

## Ⅰ-2　教育理念

『東京女子体育大学・東京女子体育短期大学は、建学の精神に基づき、体育・スポーツの知の獲得と深い洞察力を身に付け、運動文化伝承の担い手として、凛とした次世代のリーダーとなる人材を育成します』

## Ⅰ-3　教育目的

**大学**『本学は、体育・スポーツの専門的な知識・技能の教授、研究を通して、品格ある有能な女子体育指導者を養成するとともに、幅広い分野で社会の発展に貢献する人材を育成することを目的とする』

**短大**『本学は、体育・スポーツの実践的な知識・技能の教授、研究を通して、品格ある有能な女子体育指導者を養成するとともに、幅広い分野で社会の発展に貢献する人材を育成することを目的とする』

## Ⅰ-4　教育目標

**【大学】**

1．一般教養及び体育・スポーツの専門教養を学び、情況を適切に判断し、行動に移す能力の獲得
2．専門的な知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力の獲得
3．教え合い、学び合うことで培われる人間性の涵養とコミュニケーション能力の獲得

**【短大】**

1．一般教養及びこどもの身体性の専門知識を学び、情況を適切に判断し、行動に移す能力の獲得
2．「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」による、実践的な思考力、判断力、表現力の獲得
3．教え合い、学び合うことで培われる人間性の涵養とコミュニケーション能力の獲得

## Ⅰ−5　ディプロマ･ポリシー(卒業認定･学位授与の方針)

ディプロマ・ポリシーとは
学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり，学生の学修成果の目標となるものです。

### (1) 大学体育学部体育学科

教育目標をかかげ、4 年間の学修を通して、教育課程を修了して所定の単位数を修得し、以下に定める能力を身に付けた学生に対して、「学士(体育学)」の学位を授与します。

〔知識・技能〕

1. 豊かな社会性と人間性を支える広い教養と、体育学に関する実践な知識・技能を身に付けている。
2. 社会生活や職業生活に必要な資格などの知識・技能を身に付けている。

〔実践的に必要な思考力・判断力・表現力〕

1. 自ら設定した体育学等の課題について、情報を収集し、整理・分析・解決するとともに、多様な人々と協働し、理解を深めた上で適切な考えをもつことができる。
2. 自分の考えを根拠に基づき、コミュニケーション能力を生かして的確に表現し、議論し、伝え合うことができる。

〔生涯に渡って学び続ける力・人間性等〕

1. 社会の諸問題に対して、探究心をもって主体的に考え、行動するとともに、様々な人や組織と協働する中で、自分の役割を果たすことができる。
2. 立場や価値観の異なる他者と対話しながら合意形成できるよう働きかけ、社会の発展に貢献できる。

### (2) 短期大学こどもスポーツ教育学科

教育目標をかかげ、2 年間の学修を通して、教育課程を修了して所定の単位数を修得し、以下に定める能力を身に付けた学生に対して、「短期大学士(こどもスポーツ教育)」の学位を授与します。

〔知識・技能〕

1. 豊かな社会性と人間性を支える基礎となる教養とこどもの基本的な特性とスポーツに関する実践的な知識・技能を身に付けている。
2. こどもたちの教育やスポーツに関する資格などの知識・技能を身に付けている。

〔実践に必要な思考力・判断力・表現力〕

1. 自ら設定したこどもやスポーツに関する課題について、情報を収集し、整理・分析・解決するとともに、多様な人々と協働し、理解を深めた上で適切な考えをもつことができる。
2. 自分の考えを根拠に基づき、コミュニケーション能力を生かして的確に表現し、議論し、伝え合うことができる。

〔生涯に渡って学び続ける力・人間性等〕

1. 社会の諸問題に対して、探究心をもって主体的に考え、行動するとともに、様々な人や組織と協働する中で、自分の役割を果たすことができる。
2. 立場や価値観の異なる他者と対話しながら合意形成できるよう働きかけ、社会の発展に貢献できる。

## Ⅰ-6　カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラム・ポリシーとは、
ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針です。

### (1) 大学体育学部体育学科

[カリキュラムの編成と教育内容]

4年間の学修を通して教育目標を達成するための、教養科目、基礎科目および体育・スポーツの専門科目で編成します。専門科目は、共通科目と4つの専攻コース(教職体育学、スポーツ健康学、コーチング学、スポーツマネジメント学)別の科目とで編成します。

それぞれの教育内容は次のとおりです。

○教養科目

本学の基本理念および歴史と伝統、国語・外国語、数理、情報リテラシー等豊かな教養の基盤を養うとともに、ボランティアやキャリアトレーニング等を通じて、社会性(協働)の醸成と自己形成を促します。

○基礎科目

体育・スポーツの基礎理論と基礎実技を学び、各専門領域の導入を図ります。また、アウトドア実習等を通じて、チームワークやコミュニケーション能力を養います。

○専門科目

身体教育および健康教育のあり方やスポーツ文化・マネジメントの価値や意義に関し、理論と実習(演習)の両面から専門的に学びます。

○ゼミナール・卒業研究

3年次からは、少人数のゼミナールにより、担当教員の指導のもと、研究方法を学び、意欲的・主体的に研究活動に取り組み、卒業研究発表を行います。

[教育方法]

講義、演習、実験、実技、実習等を複合的に行います。また、学生同士が教え合い相互に学び合う協同学習(アクティブラーニング)を授業形態に取り入れています。

[学修成果の評価方法]

科目ごとに、シラバス(授業計画書)に明示した評価の方法により、平素の学修状況に加え試験(筆記、実技等)、レポート等で行います。

### (2) 短期大学こどもスポーツ教育学科

[カリキュラムの編成と教育内容]

2年間の学修を通して教育目標を達成するために、教養科目、こどもの基本的な特性への理解と運動、スポーツの実践に関する科目および教職・保育職・スポーツ指導に関する専門科目でカリキュラムを編成します。

それぞれの教育内容は次のとおりです。

○教養科目

本学の基本理念および歴史と伝統、国語・外国語、数理、情報リテラシー等豊かな教養の基盤を養います。

○基礎科目・専門科目

体育・スポーツ、音楽、図画工作、教育原理、発達心理学等、保育・幼児教育および児童教育の基礎理論と基礎実習により実践力を養います。

・スポーツ教育コース：幼稚園教諭および小学校教諭、スポーツ関連等の資格取得に必要な教科と実習

・こども教育コース：幼稚園教諭および保育士、スポーツ関連等の資格取得に必要な教科と実習

［教育方法］

「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」を重視した教育を展開するために、講義、演習、実技、実習等を複合的に行います。さらに保育実習・教育実習や卒業公演である『創作オペレッタ』等を通してその能力を磨きあげます。

［学習成果の評価方法］

科目ごとに、シラバス（授業計画書）に明示した評価の方法により、試験（筆記、実技等）、レポート等で行います。

## Ⅰ－7　アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

**アドミッション・ポリシーとは、**
**学部・学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、入学者を受け入れるための基本的な方針であり，受け入れる学生に求める学修成果を示すものです。**

### (1) 大学体育学部体育学科

東京女子体育大学は、本学の建学の精神と教育目的を理解し、本学で学ぼうとする強い意志と目的意識をあわせ持つ人を受け入れます。

［求める人物像］

1. 知識・技能

・入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や技能を有している人

・体育・スポーツに関して、修学に必要な実技能力を有している人

2. 思考力・判断力・表現力

・物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察することができる人

・自分の考えをまとめて的確に表現することができる人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・体育・スポーツに関わる諸問題に関心を持ち、社会に貢献する意欲がある人

・多様な人々とのコミュニケーションを図り、相互理解に努めようとする態度を有している人

［入学者選抜］

本学では、多様な入学者選抜により、入学者に求める力を多面的・多角的に評価し、総合的に判定します。

1. 総合型選抜

建学の精神を理解し、本学の教育内容に高い関心とコミュニケーション能力を有し、入学後も意欲的に体育・スポーツ分野に研鑽を重ね、将来社会で活躍が期待できる者を求めます。

2. 学校推薦型選抜

①指定校

本学が指定する高等学校における高等学校長が推薦する生徒で、本学の教育内容に高い関心を持ち、体育・スポーツ分野に明確な目的意識を持っている者を求めます。

②スポーツ

本学の教育内容に高い関心を持ち、優れた競技力を有し進学後もその技能に磨きをかけ体育・スポーツの分野で活躍できる資質を有している者を求めます。

3. 一般選抜

本学の教育内容に高い関心を持ち、学業に優れ、体育・スポーツに関する能力を有する者を求めます。

### (2) 短期大学こどもスポーツ教育学科

東京女子体育短期大学は、本学の建学の精神と教育目的を理解し、本学で学ぼうとする強い意志と目的意識をあわせ持つ人を受け入れます。

［求める人物像］

1．知識・技能

・入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や技能を有している人

・音楽、図画工作、体育・スポーツに関して、修学に必要な実技能力を有している人

2．思考力・判断力・表現力

・物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察することができる人

・自分の考えをまとめて的確に表現することができる人

3．主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

・保育・幼児教育および児童教育に関わる諸問題に関心を持ち、社会に貢献する意欲がある人

・体育・スポーツ全般に関わる諸問題に関心を持ち、社会に貢献する意欲がある人

・多様な人々とのコミュニケーションを図り、相互理解に努めようとする態度を有している人

［入学者選抜］

本学では、多様な入学者選抜により、入学者に求める力を多面的・多角的に評価し、総合的に判定します。

1．総合型選抜

建学の精神に基づき、本学の教育内容に高い関心とコミュニケーション能力を有し、入学後も意欲的に身体教育を中心とした保育・幼児教育および児童教育の分野または体育・スポーツ分野に研鑽を重ね、将来社会で活躍が期待できる者を求めます。

2．学校推薦型選抜

①指定校

本学が指定する高等学校における高等学校長が推薦する生徒で、本学の教育内容に高い関心を持ち、身体教育を中心とした、保育・幼児教育および児童教育の分野または体育・スポーツ分野に明確な目的意識を持っている者を求めます。

②スポーツ

本学の教育内容に高い関心を持ち、優れた競技力を有し進学後もその技能に磨きをかけスポーツの分野で活躍できる資質を有しており、将来、保育・幼児教育および児童教育の分野または体育・スポーツ分野で活躍が期待できる者を求めます。

3．一般選抜

保育・幼児教育および児童教育または体育・スポーツに高い関心を持ち、学業に優れた者を求めます。

# Ⅱ　授業等

## Ⅱ-1　授　業

### (1)授業時間

90 分を 1 校時(1 コマ)として、9 時から 18 時 00 分まで 1 日 5 校時(土曜日は 2 校時)に区分しています。

| 校　時 | 授業時間 |
|---|---|
| 1校時 | ９：００～１０：３０ |
| 2校時 | １０：４５～１２：１５ |
| (昼休み) | （１２：１５～１３：０５） |
| 3校時 | １３：０５～１４：３５ |
| 4校時 | １４：５０～１６：２０ |
| 5校時 | １６：３０～１８：００ |

※授業時間の間が短いので、速やかに移動してください。着替え等で入室が遅れた場合には授業科目担当教員にその旨伝えてください。

### (2)授業クラス

**〈大学体育学部〉**

大区分はＡ・Ｂ、中区分はＡ１・Ａ２・Ｂ１・Ｂ２、小区分はａ・ｂ・ｃ・ｄ・ｅ・ｆに区分されます。

| 大区分 | A | | | B | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 中区分 | Ａ１ | | Ａ２ | Ｂ１ | | Ｂ２ |
| 小区分 | a | b | c | d | e | f |

**〈こどもスポーツ教育学科〉**

小区分はＡ・Ｂ・Ｃに区分されます。授業科目によってＢＣ合同で行います。

| 大区分 | ＡＢＣ | |
|---|---|---|
| 中区分 | ＡＢ、Ｃ | Ａ、ＢＣ |
| 小区分 | A | B | C |

### (3)授業ガイダンス

前期・後期の初回の授業でシラバス等に基づき、授業の内容・進め方等についてガイダンスを行います。前期は、履修登録前ですが、履修を予定する授業科目の授業に必ず出席してください。

後期は、既に履修登録した授業科目の授業に出席してください。

**①ガイダンスの期間**

通常授業開始からの１週間

**②ガイダンスの方法**

授業内容等についてシラバスに沿って具体的に解説したあと、引き続き通常授業に入ります。

**(4)通常授業**

各学年ともクラス制をとっているので、原則として自分の授業クラスに配当されている科目・曜日・校時で履修します。

**①出席のとり方**

出席は、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」を使用します。なお、授業によっては、他の方法で出席をとることがありますので、必ず学生証を携行してください。

**②遅刻の取扱い**

ア．遅刻は20分を限度とします。ただし、これ以降であっても授業への支障がない限り(担当教員の許可を得て)、教室・体育館等への入室・入場することは可能です。

イ．公共交通機関の遅延証明書がある場合は、「出席」または「特別欠課」と同等の扱いとなります(遅延時間や授業展開等により教員が判断)。

ウ．公共交通機関の遅延や運休により授業時間内に出校できなかった場合は、「特別欠課」と同等の扱いとなります(遅延や運休を証明できる場合)。

**③欠席の場合**

授業は定められた時間割に従って毎回出席しなければなりません。都合によりどうしても欠席しなければならない場合は、教務課にある「欠課届」に必要事項を記入してそれぞれの授業科目担当教員に事前に提出してください。

また、引き続き1週間以上欠席する場合は、「欠課届」を授業科目担当教員に事前に提出するとともに、「欠席届」を教務課に提出してください(病気・負傷等の場合は、医師が診察したことの分かるものを添えること)。

**④授業の特別欠課**

次の場合は特別欠課の扱い(それぞれ証明書類が必要)になりますので、「特別欠課届」の用紙に必要事項を記入し担当部署の押印を受けて、すみやかに授業科目担当教員に提出してください。1つの科目において提出できる特別欠課届は最大7枚です。ただし、特別欠課の提出をもって出席とはなりませんので、授業担当教員の指示に従うとともに、授業出席日数には十分に注意してください。
以下の場合、「評価対象外」となります。

ア．正当な理由なく、授業の2/3以上の出席がない場合

イ．5回を超える欠課のうち、自己都合欠課が3回を超える場合

ウ．7回を超える欠課があった場合(その理由に依らず)

| 欠課状況 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11-15 | 対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特別欠課0 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | **欠** | | | | | | |
| 特別欠課1 | 特 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | **欠** | | | | | | |
| 特別欠課2 | 特 | 特 | 欠 | 欠 | 欠 | **欠** | | | | | | |
| 特別欠課3 | 特 | 特 | 特 | 欠 | 欠 | 欠 | **欠** | | | | | |
| 特別欠課4 | 特 | 特 | 特 | 特 | 欠 | 欠 | 欠 | **欠** | | | | 評価対象外 |
| 特別欠課5 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | 欠 | 欠 | **欠** | | | | |
| 特別欠課6 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | 欠 | **欠** | | | | |
| 特別欠課7 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | **欠** | | | | |
| 特別欠課8 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | 特 | **(特)** | | | | |

| 事　　由 | 様　式 | 担当部署 | 添付書類 |
|---|---|---|---|
| 授業の時間割の重複 | 特別欠課届 | 教務課 | |
| 忌引き(2親等内親族・連続した3日間まで) | | | 会葬礼状など |
| 授業中負傷 | | | |
| 学校感染症 | | 健康管理センター | 登校許可証明書 |
| 介護等体験 | | 教職センター | |
| 本学を代表した試合等出場 | | 学生課 | 出場届 |
| 就職採用試験等 | | キャリア支援課 | 来社証明書 |
| 教育実習等 | | 教職センター | |
| 社会体育施設実習 | | キャリア支援課 | |
| 特定の資格認定試験 | | | |
| 特定のボランティア等地域活動 | | 地域交流センター | |
| その他公民権行使等学長が特に認めた場合 | | 教務課 | |

**⑤休講の場合**

授業科目担当教員の都合等で休講になる場合は、掲示板やポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」に掲示しますので、確認してください。

**⑥臨時休講になる場合**

登校前に台風等による自然災害や事故等でＪＲ中央線・南武線等が運休している場合は、午前6時の時点で臨時休講の判断をし、その後、本学ホームページ及びポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」に掲示するので、必ず確認してください。

**(5)補講**

休講などにより授業内容や授業時間の不足が生じた場合、それを補うために補講授業を行います。補講授業は、原則として行事予定表に示した補講期間に別途時間割を組んで行いますので、補講科目・校時・教室をポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。ただし、授業科目担当教員が独自に行う場合もありますので、受講漏れのないよう注意してください。

**(6)学生証の携行**

登校の際は必ず学生証を携行してください。授業の出席をとる際、必要となる授業科目もあります。また、期末試験や追・再試験の受験、証明書の交付、図書館の利用などにも必要となります。

**①学生証の取扱い**

学生証の有効期間は、大学は4年間、短期大学は2年間なので紛失しないよう管理してください。氏名の漢字や生年月日等に誤りがある場合は、速やかに教務課に申し出てください。

通学定期券の購入が必要な場合は、学生証受領時に「通学定期乗車券発行控」を配布します。

**②学生証の再発行**

学生証を破損、紛失した場合は、自動発行機で「申込書」を選択し、学籍番号を入力して「学生証再発行願」(2,000円)を購入し、教務課に提出してください。その際、「学生証再発行引換券」を受領し、指定された期日に引換券と交換に新学生証を受け取ってください。

学生証の盗難にあった場合は、最寄りの警察に届けましょう。学生証を悪用
された思わぬ被害を受けることがあります。

## Ⅱ-2 試 験

**(1)一般的注意事項**

① 履修した授業科目に関する試験は、各授業科目担当教員が授業内において随時行う予定ですので指示に従ってください。ただし、期末試験として各学期末の補講期間に行う場合があります。

② 次のいずれかに該当するときは、試験を受けることができません。
- ・試験を受けようとする科目の履修登録がされていないとき
- ・学生証を所持していないとき(「仮学生証」の交付を受けて受験する)
- ・試験開始後、20 分を過ぎたとき
- ・授業料等学納金を滞納しているとき(分納・延納手続をしている者を除く)

③ 試験を受けるときは以下の注意事項を遵守してください。
- ・机の上には特別の指示がある場合を除き、鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム以外(下敷き、鉛筆ケース等)は出さないこと
- ・机の中にも一切物を置かないこと。本、ノート、プリント類は全部バッグにしまい、隣の者との間の椅子の上に置くこと
- ・学生証は、ケースから抜き出し、通路側の机の上に置くこと
- ・必要な事情が生じたら挙手をして指示を待つこと
- ・携帯電話、スマートフォン、時計(ウェアラブル端末含む)のアラーム等の音が出ないようスイッチを切ること(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末はバックにしまう)
- ・不正行為は行わないこと　不正行為を行った場合は、厳しい処分を受けます

**(2)追試験**

特別欠課により期末試験等を受験できなかった場合は、追試験を受けることができます。特別欠課届を教務課に提示し「追試験受験願」の手続きを行い、その後、授業科目担当教員に「特別欠課届」を提出してください。追試験の際は、「追試験受験願」と学生証を机の上に置いて受験してください。

＊追試験料の免除

特別欠課の事由(8 頁)により期末試験等が受けられなかった学生は、「追試験料」が免除されます。ただし、ボランティア等地域活動は該当しないので、期末試験を優先し日程の調整をしてください。

**(3)再試験**

合格しなかった科目又は自己都合で期末試験を欠席した科目の再試験を受ける場合には、自動発行機で購入した「再試験料」(1 科目 1,500 円)と学生証を机の上に置いて受験してください(再試験当日は、自動発行機が混み合い試験開始時間に間に合わないこともあるので、試験日より前に購入しておく)。

なお、再々試験等その後の試験には「再試験料」は必要ありません。

**(4)試験時の学生証の提示**

試験等を受験する場合は、必ず学生証を携行し提示しなければなりません。万一忘れた場合は受験ができないので、その際は「仮学生証」（当日限り有効）の発行を受けることになります。

＊仮学生証の発行

自動発行機で「申込書」を選択し、学籍番号を入力して「仮学生証(証明書類申込書)」(200円)を購入し、教務課で「仮学生証」用紙に必要事項を記入して認印を受けます。仮学生証は発行日に限り有効のため、下校時には教務課に返還してください。

**(5)各試験後の対応**

試験結果は、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の「成績照会」にて各自で確認し、以下のように対応してください。

| 試験結果 | 記号 | 学生の対応 |
|---|---|---|
| **対象外** | N | 必要とする科目であれば、次年度以降履修登録(再履修) |
| **不可** | E | 必要とする科目であれば、次年度以降履修登録(再履修) |
| **保留** | F | すみやかに科目担当教員に相談 |
| **追試験** | G | 試験日を確認し受験 |
| **再試験** | H | 試験日を確認し受験 |

この他、別途、担当教員が課題や学力保障等の指示を掲示することがあるので、掲示板及びポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」をこまめに確認し、その指示に従ってください。

## Ⅱ-3　成 績

**(1)成績評価基準**

| | 合格(単位修得) | | | | | 不合格 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 評価 | 秀 | 優 | 良 | 可 | 認定 | 不可 | 対象外 |
| 点数 | 90点以上 | 80点以上 | 70点以上 | 60点以上 | 点数なし | 60点未満 | 点数なし |

「認定」は大学学則第29条、30条及び短大学則第25条、26条の規定により認められる単位や、次の科目についての成績評価です。ＧＰＡ(※(3)参照)には含まれません。

・藤村トヨの教育　・キャリアデザイン　・ボランティア理論

・ボランティア実習　・キャリアトレーニング　・インターンシップ

「対象外」は点数の如何にかかわらず出席状況が不良のもの(7頁④参照)及び試験(追・再試験を含む)の欠席等で評価できないものです。追試験の成績は、期末試験合格者との公平性が保たれるように考慮し、再試験は75点以上を合格の目安としています。

**(2)成績照会**

① 成績はポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の成績照会で確認してください。「成績に関する質問」については、前期科目は9月中、後期科目及び通年科目は2月中に「質問用紙」(任意様式)に記入のうえ、教務課へ提出してください。回答は、質問を受け付けてから概ね3日後に教務課窓口で学生に説明します。

② 履修した科目で、科目名・単位・評価が記入されていないときは、教務課で確認してください。

③ 保証人(保護者)には、当該年度の前期までの成績を10月中旬、後期までの成績を3月下旬に送付します。なお、成績に関する件を直接保護者が電話で問い合わせることはできません。

**(3) ＧＰＡ制度**
**(Grade Point Average)**

各科目の成績評価を点数に換算することで、学生の学修状況を客観的に把握できる指標です。

ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の成績照会から、学期ＧＰＡ及び累積ＧＰＡの数値を確認することができます。なお、数値の算出方法は以下のとおりです。

（ＧＰＡの算出方法）

ＧＰＡ対象科目は、成績評価基準における「認定」以外の科目であって、かつ、卒業要件（12頁参照）に算入されるすべての科目です。

計算値は、小数点第3位以下を四捨五入します。

① 学期ＧＰＡの計算式

$$\frac{\text{（当該学期の「秀」の単位数×４＋「優」の単位数×３＋「良」の単位数×２＋「可」の単位数×１）}}{\text{当該学期のＧＰＡ対象科目履修登録単位数(「不可」「対象外」の単位数を含む)}}$$

② 累積ＧＰＡの計算式

$$\frac{\text{（全期間の「秀」の単位数×４＋「優」の単位数×３＋「良」の単位数×２＋「可」の単位数×１）}}{\text{全期間のＧＰＡ対象科目履修登録単位数(「不可」「対象外」の単位数を含む)}}$$

**(4)単位保留等特別な配慮**

**①保留**

当該学期内には単位を認定できないが、次学期に単位修得の見込があると思われる場合は「保留」扱いとし、授業科目担当教員がその科目の成績評価を次学期に繰り越すことがあります。ただし、必ず単位が修得できるわけではなく、その後の学修状況により判断されます。

保留判定を受けた科目については、すみやかに授業科目担当教員に相談してください。

**②履修の特例**

大学に在学する学生が、特別の事情により履修がやむを得ないと認められる場合、短期大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認めることがあります。また、短期大学に在学する学生が大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認めることがあります(単位互換制度)。

履修がやむを得ないと認められるのは、所属する教育課程に含まれていない科目や、卒業年次で卒業単位を充足しなければならない場合で、学年又は学期の始めに教務課に申し出て、所定の手続きをとります。

| | |
|---|---|
| ③単位保管 | 当該年度の学納金未納者の履修した科目の単位は、学納金納入があるまでその授業科目の修得単位を保管します。 |

## Ⅱ-4　3年次進級要件

| | |
|---|---|
| (1)大学体育学部体育学科 | 2年次終了時点で1年半以上の就学期間があり、卒業要件科目について50単位以上を修得済みであること、また累積ＧＰＡが1.0以上であることを、3年次進級の要件とします。なお，この場合の累積ＧＰＡの計算においてのみ、再履修により修得した授業科目の、以前の「不可」「対象外」の単位数は含みません。<br>上記に満たない場合は、専攻コース・ゼミナールには所属できませんが、3年次以降に開講される授業(専攻理論・専攻実習を除く)は履修することができます。 |

## Ⅱ-5　卒業要件と学位

| | |
|---|---|
| (1)大学体育学部体育学科 | 4年(3年次編入学は2年)以上在学し、所定の単位(124単位以上)を修得した者は卒業することができ、学士(体育学)の学位が授与されますただし、下記に該当する科目は卒業要件単位に含まれません。<br>①　専門に関する科目の資格関連科目<br>②　教職に関する科目の指定科目以外 |
| (2)短期大学<br>こどもスポーツ教育学科 | 2年以上在学し、所定の単位(64単位以上)を修得した者は卒業することができ、短期大学士(こどもスポーツ教育)の学位が授与されます。 |
| (3)卒業の通知 | 2月下旬の卒業認定会議を経て、「UNIVERSAL PASSPORT」で通知されます。なお、卒業の可否に関する件を電話で問い合わせることはできません。 |

## Ⅱ-6　担任制度とゼミナール

| | |
|---|---|
| (1)担任制度<br>（グループ担任） | 大学1･2年生、短期大学1･2年生を対象に､小グループ(10～15人程度)編成の担任制度をとっています。大学生活を豊かに、実りあるものにするため、学修上のことはもとより、クラブ活動・人間関係・経済問題・単位修得・進路のことや下記事項などについての悩み事は、グループ担任に気軽に相談しましょう。<br>①　学業・交友関係・進路相談に関すること<br>②　出席が常でない等学修に関すること<br>③　休学、退学、復学等学籍に関すること<br>④　保証人等の身上の変化に関すること<br>⑤　授業料等納付金(未納・延納・分納等)に関すること |
| (2)ゼミナール(ゼミ担任) | 大学3･4年生は全学生がゼミナールに所属し、指導教員のもとで学習します。<br>ゼミナールは、1グループ10人程度で編成されます。ゼミナール所属は、2年次の11月頃に各学生の希望を調査し、調整のうえ決定されます。早い段階か |

ら自分が深く学びたい学問分野を考えておくことが必要です(詳細は 24 頁参照のこと)。

3・4 年生も、学修上のこと、クラブ活動・人間関係・経済問題・単位取得・進路のことなどについての悩み事はゼミナールの指導教員に気軽に相談しましょう。

**(3)オフィスアワー**

グループ担任やゼミ担任の他に、先生に聞きたいことや相談したいことがある場合には、気軽に研究室を訪ねられる時間を設けています。前期・後期ごとに各先生のオフィスアワーの時間帯を掲示します。オフィスアワーは、学生に開かれた質問・相談の窓口ですので、積極的に活用しましょう。

## Ⅱ-7 教務事務一般に関する注意事項

**(1)教科書購入**

教科書は、前期・後期の始めに期日を定めて校内販売を行います。履修する授業科目を確認し、購入漏れのないように注意してください。販売時期、場所等については、履修オリエンテーション等で通知します。

**(2)教務課に届ける事項**

次の事由が発生したら、速やかに「諸届変更届」を提出してください。
「諸届変更届」の様式はホームページからダウンロードできます。

【学生本人の変更事項】

① 結婚等で改姓したとき
② 引越しで住所が変わったとき
③ 電話・携帯電話の番号が変わったとき

【保証人(保護者)の変更事項】

① 保証人を変更したとき
② 保証人の住所、電話番号等が変わったとき

※重要かつ緊急な連絡を行うことがありますので、電話・携帯電話の番号が変わったときは速やかに「諸届変更届」を提出してください。

## Ⅱ-8　科目等履修生 ［対象:大学 3･4 年生及び卒業生］

本学体育学部の学生で、中学校・高等学校の教育職員免許状（一種）の取得を目指し、さらに小学校または幼稚園教諭の教育職員免許状（二種）の取得を希望する場合は、科目等履修生制度を利用して本学短期大学こどもスポーツ教育学科の授業科目を履修することができます。免許取得に必要な単位を修得することで、個人申請により免許状を取得することができます。在学生の履修単位数の上限は年間 20 単位以内です。

卒業生は、当該授業科目の授業運営に妨げとならない範囲で受入れています。

**(1)資格・出願手続き**

履修資格は大学卒業者又は大学 2 年次以上を修了した者で、科目等履修生志願書（本学様式）及び成績証明書等の提出が必要です。

科目等履修生の出願は、希望者を対象にした説明会を 1 月下旬と 7 月下旬に実施予定なので、希望する場合は参加してください（説明会の日時は事前に掲示します）。

**(2)登録料等納入金**

①　選考料　20,000 円
②　登録料　15,000 円
③　履修料　1 単位につき 10,000 円
　　※継続する場合、次年度は履修料のみ

**(3)履修期間・単位数等**

①　履修期間は 6 ヶ月又は 1 年単位です。ただし、継続は 3 年を超えることはできません。超える場合は新規出願となります。
②　履修単位数は年間 20 単位以内です(大学での授業を優先して履修します)。

# Ⅲ　履修登録

## Ⅲ-1　履修の基本事項

| | |
|---|---|
| (1)学年・学期 | ①　学年は4月1日に始まり、3月31日に終了します。<br>②　学期は前期・後期の2学期に分かれ、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から3月31日までとなっています。ただし、教育上必要な場合、後期の授業開始が9月になることがあります。 |
| (2)授業科目(開講期間) | |
| ①通常授業 | 授業科目は、前期又は後期のいずれかで完結する「半期科目」と1年間で完結する「通年科目」に分類されます。本学は、セメスター制を導入しており、ほとんどの授業科目が半期科目で構成されています。 |
| ②集中授業 | アウトドア実習などの学外実習は、一定の期間に集中して実施します。このほか、教育上の理由から集中して行うことで教育効果が認められる授業があります。「集中授業科目」の一覧は、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」で確認することができます。 |
| (3)授業科目(履修区分) | |
| ①必修科目 | 本学の教育目的を達成するために必ず修得しなければならない授業科目です。全ての科目の単位を修得しなければ卒業は認定されません。 |
| ②選択必修科目 | 指定された開設科目の中から自由に選択し、履修することができる授業科目です。ただし、最低修得単位数が定められている場合は、その単位数以上の科目を修得しなければ、卒業は認定されません。 |
| ③選択科目 | 自由に選択し、履修することができる授業科目です。 |
| (4)授業形態 | 授業科目は3つの形態に分類されます。 |
| ①講義 | 教員による学問研究の内容の説明を受けることによって、知識の定着を図る授業形態です。 |
| ②演習 | 教員の講義を受けるとともに、グループワークや発表等を通じて学修する授業形態です。 |
| ③実技 | 実際に身体を動かすことによって、特定の技能を身に付ける授業形態です。 |
| (5)授業時間と単位数 | 各授業における単位とは、各科目の授業時間と学修の量を数値で示したものです。1単位は卒業研究等を除き45時間の学修(授業・自学自習)を必要とする内容をもって構成することを標準としています。<br>(例)　講義　週1コマ(15回)2単位科目の場合<br>◆必要学修時間◆　45時間×2単位＝90時間　それぞれの授業科目における基準を満たした者に対して単位を授与します。 |

〈学習時間の考え方〉

| 授業形態 | 単位数 | 必要学習時間 (h) | 授業時間 (h) | 必要授業外学習時間 (h) |
|---|---|---|---|---|
| 講義 | 2 | 90 | 30 | 60 |
| 講義 | 1 | 45 | 15 | 30 |
| 演習 | 2 | 90 | 30 | 60 |
| 演習（通年） | 2 | 90 | 60 | 30 |
| 演習 | 1 | 45 | 30 | 15 |
| 実習 | 1 | 45 | 30 | 15 |
| 講義・演習 | 1 | 45 | 30 | 15 |
| 実技・講義 | 2 | 90 | 60 | 30 |
| 実技・講義 | 1 | 45 | 30 | 15 |

**(6) 単位修得までの流れ**

履修登録 ⇒ 授業＋自学自習 ⇒ 試験 ⇒ 合格 ⇒ 単位修得

**(7) シラバス**

シラバスは、授業科目担当教員が学生に対して授業で扱う内容(概要)を示したものです。シラバスを参照することで、授業の概要、授業の方法･形態、授業の到達目標(DP で目指す資質・能力)、授業計画、評価の方法、使用する教材・必要な参考書、授業外学習(予習・復習)を知ることができます。履修登録を行うにあたり、科目選択の基準としてシラバスを活用してください。各授業科目のシラバスは、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」により 4 月初めに公開されます。

**(8) 履修登録単位数の上限（ＣＡＰ制）**

1 年間に履修登録できる単位数の上限は 46 単位です。

半期に履修登録できる単位数は 23 単位としますが、疾病等で単位修得が十分できなかったなどの理由がある場合は、個別に対応します。

履修登録単位数の上限の範囲に含まれない科目があります。①集中授業の選択科目、②卒業認定単位に含めない選択科目(スポーツ健康学実習、スポーツ関連施設実習など)、③卒業認定単位に含めない教職科目(学科により異なります）・資格関連科目です。また、所定の手続きにより履修を取消した科目は、上限単位数に含めません。

転入学生、編入学生、特に必要と認める卒業年次の学生は、履修登録できる単位数の上限を別に定めることがあります。

こどもスポーツ教育学科は学期での制限はなく、年間で 46 単位が上限となります。

## Ⅲ-2 授業科目表と履修・修得単位

〈大学体育学部体育学科〉

(1) 「授業科目表」(29～31 頁)は、授業科目名、単位数、標準履修学年、履修区分、最低修得単位数等が記載されています。

(2) 大学体育学部を卒業するためには、次の①～⑥の条件を満たし、124 単位以上を修得することが必要です。

① 教養に関する科目は、次の条件を満たした上で、22 単位以上を修得します。

必修 3 科目 4 単位、3 つの選択必修区分それぞれの最低修得単位数以上を修得します。外国語コミュニケーションは、英語・ドイツ語・韓国語の中から同一の言語のⅠ及びⅡを必ず履修し、 2 科目 2 単位を修得します。

② 専門に関する科目の「基礎理論」は選択必修 5 科目のうち 6 単位以上を習得します。「基礎実技」および「アウトドア実習」は選択必修区分それぞれの最低修得単位数以上を修得します。

「基礎実技」のⅠ・Ⅱを付した科目はⅠ→Ⅱの順に履修します。

③ 専門に関する科目の「専攻理論」は、1 つのコースを選択し、6 単位以上を修得します。「専攻実習」は、「専攻理論」と同じコースを選択し 4 単位以上を修得します。

④ 専門に関する科目の「選択領域理論・実習」は、最低修得単位 30 単位以上を修得します。

⑤ 専門に関する科目の「ゼミナール」は、3・4 年次に 6 単位を修得します。

⑥ ①～⑤で修得した単位数の合計が、124 単位以上となるよう履修し単位を修得します。教職に関する科目のうち指定科目(#を付した科目)は卒業に必要な単位数に含めることができます。

(3) 卒業に必要な単位数は次の表の通りです。必修科目、選択必修科目の最低修得単位数の基準を満たした上で、教養科目、専門科目、教職に関する科目の指定科目の余剰単位数を加えて 124 単位以上を修得します。

<table>
<tr><th colspan="6">体育学部(令和 7 年度入学)</th></tr>
<tr><th colspan="2">授業科目</th><th>必修</th><th>選択必修</th><th>合計</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="3">教養科目</td><td>藤村ベーシック</td><td>4 単位</td><td>4 単位</td><td rowspan="3">22 単位</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>一般教養</td><td></td><td>14 単位</td></tr>
<tr><td>自己形成</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">専門科目</td><td>基礎理論</td><td></td><td>6 単位</td><td rowspan="3">15 単位</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>基礎実技</td><td></td><td>8 単位</td></tr>
<tr><td>アウトドア実習</td><td></td><td>1 単位</td></tr>
<tr><td>専攻理論</td><td></td><td>6 単位</td><td rowspan="2">10 単位</td><td rowspan="2">コース選択</td></tr>
<tr><td>専攻実技</td><td></td><td>4 単位</td></tr>
<tr><td>選択領域理論・実習・演習</td><td></td><td>30 単位</td><td>30 単位</td><td></td></tr>
<tr><td>ゼミナール</td><td>6 単位</td><td></td><td>6 単位</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">最低修得単位数</td><td>10 単位</td><td>73 単位</td><td>83 単位</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">余剰単位</td><td colspan="5">教養科目のうち、最低修得単位数を超えて修得した単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">専門科目のうち、最低修得単位数を超えて修得した単位</td></tr>
<tr><td colspan="5">教職科目のうち、指定科目で修得した単位(#)</td></tr>
<tr><td colspan="6">卒業に必要な単位数　最低修得単位数 ＋ 余剰単位数　合計 124 単位以上</td></tr>
</table>

(4)　３・４年次の専門分野の授業科目を履修するため、「専攻コース」と「ゼミナール」を選択する必要があります。詳しい内容は 22～24 頁の『Ⅳ-1　専攻コース』や『Ⅳ-2　ゼミナール・卒業研究』を参照してください。また、2 年次の後期にオリエンテーションを実施するので、必ず参加してください。

〈短大こどもスポーツ教育学科〉

(1)　「授業科目表」(32～35 頁)は、授業科目名、単位数、標準履修学年、履修区分、最低修得単位数等が記載されています。

(2)　こどもスポーツ教育学科はコース制をとっており、取得希望の教員免許状・保育士資格によってコースが分かれています。スポーツ教育コースは、幼稚園教諭二種免許状又は小学校教諭二種免許状若しくは両方の免許状を取得するためのコースです。また、こども教育コースは、幼稚園教諭二種免許状又は保育士資格若しくは両方の免許状・資格を取得するためのコースです。

(3)　こどもスポーツ教育学科の卒業(学位取得)に必要な単位数は 64 単位以上ですが、卒業に必要な必修科目 14 単位(34～37 頁の授業科目表の開講時期に●の表示がある授業科目)を必ず修得することが必要です。また、取得する教員免許状・保育士資格によって以下のように必要な修得単位数が異なりますので、確認をしてください。

| こどもスポーツ教育学科 スポーツ教育コース（令和７年度入学） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | | 幼稚園・小学校教諭 | | 幼稚園教諭 | | 小学校教諭 | |
| | | 最低履修単位数 | | 最低履修単位数 | | 最低履修単位数 | |
| 教養科目 | 必修 | 13 単位 | 13 単位 | 13 単位 | 13 単位 | 13 単位 | 13 単位 |
| | 選択 | | | | | | |
| 専門科目 | 必修 | 73 単位 | 75 単位 | 38 単位 | 42 単位 | 52 単位 | 57 単位 |
| | 選択必修 | 2 単位 | | | | 2 単位 | |
| | 選択 | | | 4 単位 | | 3 単位 | |
| 教養科目・専門科目 | 選択 | | | 10 単位 | 10 単位 | | |
| 取得要件単位 | | 88 単位 | | 65 単位 | | 70 単位 | |

| こどもスポーツ教育学科 こども教育コース（令和７年度入学） | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目 | | 幼稚園教諭・保育士 | | 幼稚園教諭 | | 保育士 | |
| | | 最低履修単位数 | | 最低履修単位数 | | 最低履修単位数 | |
| 教養科目 | 必修 | 13 単位 | 13 単位 | 13 単位 | 13 単位 | 9 単位 | 11 単位 |
| | 選択 | | | | | 2 単位 | |
| 専門科目 | 必修 | 68 単位 | 73 単位 | 38 単位 | 42 単位 | 54 単位 | 61 単位 |
| | 選択必修 | 5 単位 | | | | 7 単位 | |
| | 選択 | | | 4 単位 | | | |
| 教養科目・専門科目 | 選択 | | | 10 単位 | 10 単位 | | |
| 取得要件単位 | | 86 単位 | | 65 単位 | | 72 単位 | |

## Ⅲ-3 履修計画と履修登録の留意事項

履修登録は、当該年度に『どの授業科目を履修するか』を届け出る重要な手続きです。

授業科目一覧(カリキュラム表)・授業時間割表・履修ナビ等を参考に各自が履修計画を立て、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」により履修登録することから、大学での学修が始まります。

どの科目を履修するかについては、教育課程を理解したうえで、授業科目を体系づけて履修することが必要です。また、教育職員免許状などの免許や資格を取得する場合、それらを考慮して履修計画を立てましょう。

**(1)履修登録の留意事項**

履修登録に際しての留意事項は、次のとおりです。

① 履修登録は、学年の始めにポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」で１年間の登録を行います。

② 履修登録した授業科目以外は、受講することができません。

③ 登録していない授業科目は、試験を受けても単位は授与されません。

④ すでに単位を修得した授業科目は、再履修できません。

⑤ 授業科目の内容や授業方法等により、受講人数を制限する場合があります。

⑥ 上級学年に開講されている授業科目は、受講できません。

⑦ 必修科目は卒業に必要な科目ですので、必ず履修してください。

⑧ 必修科目・選択科目とも原則として自分のクラス(指定された履修クラス)の曜日・校時で履修してください。また、科目に「Ⅰ・Ⅱ」と表記のある科目は、原則として「Ⅰ」の科目を履修した後に「Ⅱ」の科目を履修します。

⑨ 履修登録した内容は、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」でよく確認してください。

**(2)履修手続きのポイント**

① 所属学科の卒業要件と履修条件をよく理解し、履修計画を立てましょう。

② 履修ガイダンスには必ず出席し、具体的な説明や指示に沿って履修計画を立てましょう。

③ 履修科目の登録・確認・訂正は、卒業や資格取得に係る極めて重要な事項です。各自の責任において行ってください。

④ 決められた期間内に、履修登録を完了してください。期間内に手続きをしなかった科目は受講できません。

## Ⅲ-4　授業時間割表の見方と自分の時間割のつくり方

(1)　「授業科目一覧」、「授業時間割表」及び「シラバス」を参照し、自分の時間割を作るために履修したい授業科目を考えます。

(2)　「授業時間割表」を基に自分の学年、履修クラスを間違えないように履修する授業科目を決めて、その授業科目が何曜日の何校時に開講されているかを確認します。
受講科目は、原則として自分のクラスで履修します。

(3)　時間割表の「期」欄に「通」とあるのは通年開講の授業科目です。「前」とあるのは前期開講の授業科目、「後」とあるのは後期開講の授業科目です。

(4)　「教室」欄の算用数字は教室番号、記号は体育館番号・体育実技のコート・特別教室を示しています。

(5)　体育実技の教室欄に算用数字のあるものは、雨天時その他で使う教室番号を示しています。

(6)　集中授業は、「授業時間割表」の右下の位置に表示されています。

(7)　履修する授業科目とその曜日等が決まったら、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の履修登録画面から WEB 登録を行い、登録内容に誤りがないかを確認します。

## Ⅲ-5　履修登録の手続きと登録の完了

### (1)　ポータルサイト「UNIVERSAL　PASSPORT」による履修登録の流れ

〈前期〉

| 学内行事 | | 手順 | 注意事項 |
|---|---|---|---|
| フレッシュウィーク<br>・履修ガイダンス | 履修登録<br>期　　間<br>↓ | ①WEB 履修登録<br>UNIVERSAL PASSPORT 履修登録画面 | ・年間の履修計画を立てる<br>・前期・後期の履修科目を登録する<br>・登録内容を確認する |
| ・授業ガイダンス | 履修登録<br>確認期間 | ②履修登録の確認<br>UNIVERSAL PASSPORT 履修登録画面<br>・修正あり　→　登録修正<br>・修正なし　→　履修登録完了 | ・UNIVERSAL PASSPORT にログインし、自分の履修科目が正しく登録されているかを確認する<br>修正が必要な者は履修科目の登録・削除を行う |

〈後期〉

| 学内行事 | | 手順 | 注意事項 |
|---|---|---|---|
| オリエンテーション | 履修登録<br>修正期間<br>↓ | ①履修登録の修正<br>・修正あり　→　登録修正<br>・修正なし　→　手続き必要なし | ・後期の履修計画を見直す<br>・UNIVERSAL PASSPORT にログインし、自分の履修科目が正しく登録されているかを確認する<br>・修正が必要な者は履修科目の登録・削除を行う |
| ・授業ガイダンス | 履修登録<br>確認期間 | ②履修登録の確認<br>・修正あり　→　登録修正<br>・修正なし　→　履修登録完了 | |

(2)履修登録の追加取消等

①履修登録の確認（前期・後期）

履修登録締切り後には、再度、履修登録した科目を確認し、修正できる期間を設けています。自分の履修登録状況を再度、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」内の「学生時間割表」にて、自分の登録した科目に誤りがないかを必ず確認してください。

履修科目にエラーがあったり、履修科目が正しく反映されていなかったりした場合は、「UNIVERSAL PASSPORT」にログインし、自分の履修科目を正しく修正してください。

②履修登録の取消（前期・後期）

履修登録した科目で科目内容が自分の期待するものと異なっていたり、自分の関心に変化が生じたりした場合は、学期の途中で科目登録の取消ができます。また、出席不足で単位を修得できる見込みがない科目の取消も可能です。ただし、むやみに取消をすると、卒業要件単位に対して修得単位数が不足することがあるので十分に注意することが必要です。

履修登録の取消を希望する場合は、教務課窓口で相談の上、「履修取消願」を指定する期間内に提出してください。

③履修科目の修正（後期）

前期に履修登録した後期の授業科目について、履修計画上問題がある場合に、科目を追加又は取消することができます。ただし、むやみに履修計画を変更すると卒業が危ぶまれることがあるので、十分考慮した上で、自分の責任において行ってください。

# Ⅳ　その他

## Ⅳ-1　専攻コース

大学３年次は、全員がいずれかの専攻コースに所属し、専門分野について学修を深め、その力量を高めていくことになります。各専攻コースの特色と学修の内容は次のとおりです。

**教職体育学専攻コース**

『学校教育のさまざまな問題をとらえ追求する』

児童、生徒を教え導く教職に就くためのより高度な専門知識を学び、体育学の知識・技能の習得はもちろん教職に関する総合的な教師力と実践的な指導力を身に付けます。

| １・２年次で単位を修得しておく科目 | ３・４年次で単位を修得する科目 |
|---|---|
| 〈専門科目〉<br>スポーツ運動学(含運動方法) / スポーツ原理 / スポーツ心理学 / 生理学 / スポーツ史<br>〈専門選択〉<br>衛生学及び公衆衛生学 / スポーツ医学(含救急法、看護法) / スポーツ生理学/基礎実技など<br>〈教職科目〉<br>教職論 / 教育原理 / 教育行政 / 教育心理学 / 教育課程論 / 教育相談など | 〈専攻理論〉<br>体育科教育学 / 学校ネットワーク論 / 未来の学校教育実践論 / 体育カリキュラム論<br>〈専攻実技〉<br>学校体験学習<br>下記種目の指導方法及び実習<br>体つくり運動 / 器械運動 / 陸上競技 / 球技 / 水泳 / ダンス / 武道 |

**スポーツ健康学専攻コース**

『運動と体力や健康との関わり方について科学的な理解を深める』

医学や生理学などの観点から身体の仕組みや理論を学び、健康づくりに関する知識を深めます。授業ではさまざまな器具を用いて正しく測定する方法や、運動処方、リハビリテーションなど、一人ひとりに効果的な運動を指導できる能力の習得を目指し、医療や福祉などさまざまな分野にも活かせる力を身に付けます。

| １・２年次で単位を修得しておく科目 | ３・４年次で単位を修得する科目 |
|---|---|
| 〈専門科目〉<br>生理学<br>〈専門選択〉<br>発育発達論 / 運動器機能解剖 / スポーツ医学(含救急法・看護法)/ スポーツ生理学 / 体力トレーニング論 / バイオメカニクス / アスレティックコンディショニング / スポーツデータサイエンス / 体力トレーニング実習　など | 〈専攻理論〉<br>予防医学 / 運動処方論 / 行動栄養学 / アダプテッドスポーツ論<br>〈専攻実技〉<br>体力評価の理論と実習 / 健康評価の理論と実習<br>健康体力づくり指導方法及び実習 / スポーツリハビリテーション演習 / 健康運動指導演習 / 健康マラソン・ウォーキング実習 / 健康づくり体験実習<br>(卒業単位に含まない資格関連科目)<br>スポーツ医学演習 / スポーツ健康学実習 / スポーツ関連施設実習 |

**コーチング学専攻コース**

『徹底したマンツーマン指導で専門競技力・専門指導力が向上する』

ベテランの指導者や各分野のスペシャリストから一対一で教わり、トップアスリートとして自身の運動スキルをさらに高めることができます。また、ハイパフォーマンスへの道筋を理論的に教わることによって、専門の授業以外の場面でも人の運動能力を引き出す力を身に付けます。

**１・２年次で単位を修得しておく科目**

〈専門科目〉

スポーツ運動学（含運動方法）

〈専門選択〉

スポーツ医学（含救急法・看護法）/ スポーツ生理学 / ベーシックコーチング論 / アスレティックコンディショニング / バイオメカニクス / 体力トレーニング論 / 体力トレーニング実習など

〈基礎実技〉

新体操 / 器械運動Ⅱ / 陸上競技Ⅱ / ダンスⅡ / 球技（ソフトボール・ハンドボール）/ 球技（テニス・バドミントン）など

**３・４年次で単位を修得する科目**

〈専攻理論〉

スポーツ技術論 / スポーツ戦術論 / 運動観察論 / アドバンストコーチング論

〈専攻実技〉

コーチング論（競技論・表現論）/

コーチング論及び実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

※ 新体操競技 / 体操競技 / 陸上競技 / バレーボール / バスケットボール / ハンドボール / ソフトボール / 柔道 / 剣道 / ダンスから１種目を選択

**スポーツマネジメント学専攻コース**

『多くのことを幅広く追求する』

1・2 年次に修得した基礎的な知識や技能を発展させ、教育としての体育・スポーツの意味を深く理解し、社会に適応した幅広いマネジメント能力を育成します。学校体育をはじめとして、子どもから高齢者まであらゆる世代の運動指導にも、地域社会において幅広く対応できる実践的指導力を身に付けます。

**１・２年次で単位を修得しておく科目**

〈専門科目〉

スポーツ原理 / スポーツ心理学

〈専門選択〉

スポーツ生理学 / スポーツマネジメント論 / スポーツ栄養学 / データサイエンス / 野外教育論 / ニュースポーツ / レクリエーション演習Ⅰ・Ⅱ / エアロビックダンスなど

〈基礎実技〉

体つくり運動Ⅰa・b / 武道（柔道・剣道）/ 器械運動Ⅱ / 陸上競技Ⅱ / ダンスⅡ / 球技（ソフトボール・ハンドボール）/ 球技（テニス・バドミントン）など

〈アウトドア実習〉

マリンスポーツ実習 / キャンプ実習 / スキー実習 / スノーボード実習

**３・４年次で単位を修得する科目**

〈専攻理論〉

スポーツ社会学 / スポーツ行政学 / スポーツ産業論 / アウトドアスポーツ論

〈専攻実技〉

部活動マネジメント演習 / 地域スポーツ演習 / スポーツイベント・企画演習 / アウトドアスポーツ演習

## Ⅳ-2　ゼミナール･卒業研究

(1)　　ゼミナール・卒業研究

大学3年次から4年次の2年間、全学生がゼミナールに所属します。ゼミナールは、少人数のクラスに分かれて､指導教員のもとで自分がより深く学びたいことを本格的に研究･実践できる場です｡**｢体育･スポーツ学｣**､**｢教育学｣**､**｢教養教育｣**の3分野に区分されており、分野ごとに複数の学問領域のゼミナールが用意されています。ゼミナール名は、表1の領域名になります。

ゼミナールの所属は、2年次の11月に各学生の希望を調査し、人数等を調整したうえで決定されます。2年次の早いうちから、自分がより深く学びたい学問領域は何か、専門性に磨きをかけたいことは何なのかを考えておくことが必要です。

卒業研究は、4年次にゼミナールの指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマについて研究を行い、その成果(論文)を提出し評価を受けるもので、12月には卒業研究発表会において発表を行います。

なお、卒業研究は、全てのゼミナールにおいて必修です。

(2)　ゼミナール・卒業研究の単位

ゼミナール・卒業研究の履修科目と単位数は以下のとおりです。

| 3年次　ゼミナール | 4年次　ゼミナール(含卒業研究) |
|---|---|
| ゼミナールⅠa(前期)：1単位 | ゼミナールⅡa(含卒業研究)(前期)：2単位 |
| ゼミナールⅠb(後期)：1単位 | ゼミナールⅡb(含卒業研究)(後期)：2単位 |

# Ⅳ-3　履修体系[大学]･進路希望に即した履修モデル[短期大学]

## 東京女子体育大学体育学部体育学科履修体系

| 分野 | | 区分 | 履修単位 | 1　年　次 | 履修単位 | 2　年　次 | 履修単位 | 3　年　次 | 履修単位 | 4　年　次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教養科目 | 藤村ベーシック | 必修 | 4 | 藤村トヨの教育　国語基礎講座<br>キャリアデザイン | | | | | | |
| | | 選択必修 | 4 | 体育・スポーツ学入門 | | 探究の論理<br>キャリア探究講座 | | | | |
| | 一般教養 | 選択必修 | 12 | 歴史の探究　日本語の探究<br>芸術の探究　数と思考<br>自然と生命　★情報リテラシー | | 社会の探究　★日本国憲法<br>スポーツ美の探究　女性と生活<br>英語表現Ⅰ　英語表現Ⅱ | | | | |
| | | | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | | | | | | |
| | | 選択必修 | 2 | ★英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ<br>★ドイツ語コミュニケーションⅠ・Ⅱ<br>★韓国語コミュニケーションⅠ・Ⅱ | | | | | | |
| | 自己形成 | 選択 | | | | キャリアトレーニング | | インターンシップ | | |
| | | | | | | ボランティア理論 | | ボランティア実習 | | |
| 専門に関する科目 | 基礎理論 | 選択必修 | 6 | ★スポーツ運動学（含運動方法）<br>★生理学　★スポーツ原理<br>★スポーツ心理学　★スポーツ史 | | | | | | |
| | 基礎実技 | 選択必修 | 4 | ★体つくり運動Ⅰａ<br>★器械運動Ⅰａ　★陸上競技Ⅰａ<br>★ダ ン スⅠａ　★水　泳　Ⅰａ | | | | | | |
| | | | | | 1 | ★S武道（柔道）　★S武道（剣道） | | | | |
| | | 選択必修 | 1 | ★S球技（バレーボール）<br>★S球技（バスケットボール） | | | | | | |
| | | 選択必修 | 1 | 体つくり運動Ⅰｂ　器械運動Ⅰｂ　陸上競技Ⅰｂ　ダ ン スⅠｂ　水　泳Ⅰｂ | | | | | | |
| | | 選択必修 | | | 1 | 新体操　器械運動Ⅱ　陸上競技Ⅱ　ダ ン スⅡ　球技（ソフトボール・ハンドボール）　球技（テニス・バドミントン） | | | | |
| | アウトドア実習 | 選択必修 | | | 1 | ★Sマリンスポーツ実習<br>★Sキャンプ実習<br>★Sスキー実習<br>★Sスノーボード実習 | | | | |
| | 専攻理論 | 選択必修 | | | | | | 【教職体育学専攻コース】 | | |
| | | | | | | | 6 | 体育科教育学　未来の学校教育実践論<br>体育カリキュラム論 | | 学校ネットワーク論 |
| | | | | | | | | 【スポーツ健康学専攻コース】 | | |
| | | | | | | | 6 | 予防医学　運動処方論 | | 行動栄養学　アダプデットスポーツ論 |
| | | | | | | | | 【コーチング学専攻コース】 | | |
| | | | | | | | 6 | ｽﾎﾟｰﾂ技術論　ｽﾎﾟｰﾂ戦術論　運動観察論 | | アドバンストコーチング論 |
| | | | | | | | | 【スポーツマネジメント学専攻コース】 | | |
| | | | | | | | 6 | ｽﾎﾟｰﾂ行政学　ｽﾎﾟｰﾂ社会学　ｱｽﾄﾄﾞｱｽﾎﾟｰﾂ論 | | スポーツ産業論 |
| 専門に関する科目 | 専攻実習 | 選択必修 | | | | | | 【教職体育学専攻コース】 | | |
| | | | | | | | 4 | 学校体験学習　体つくり運動指導方法及び実習　器械運動指導方法及び実習<br>陸上競技指導方法及び実習　球技指導方法及び実習（ﾊﾞﾚｰ・ｿﾌﾄ）　水泳指導方法及び実習<br>球技指導方法及び実習（ﾊﾞｽｹ・ﾊﾝﾄﾞ）　ダンス指導方法及び実習　武道指導方法及び実習（柔道・剣道） | | |
| | | | | | | | | 【スポーツ健康学専攻コース】 | | |
| | | | | | | | 4 | 体力評価の理論と実習<br>健康評価の理論と実習<br>健康マラソン・ウォーキング実習 | | 健康体力づくり指導方法及び実習<br>アスレティックリハビリテーション演習<br>健康運動指導演習 |
| | | | | | | | | 健康づくり体験実習 | | |
| | | | | | | 健康運動指導士資格関連<br>（卒業単位に含めない） | | スポーツ医学演習 | | スポーツ健康学実習<br>スポーツ関連施設実習 |
| | | | | | | | | 【コーチング学専攻コース】 | | |
| | | | | | | | 4 | 新体操競技コーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>体操競技コーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>陸上競技コーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>バレーボールコーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>バスケットボールコーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>ハンドボールコーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>ソフトボールコーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>柔道コーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>剣道コーチング論及び実習（競技論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ）<br>ダンスコーチング論及び実習（表現論･Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ） | | |
| | | | | | | | | 【スポーツマネジメント学専攻コース】 | | |
| | | | | | | | 4 | 部活動マネジメント演習<br>スポーツメディア演習　地域スポーツ演習<br>スポーツマネジメント演習<br>アウトドアスポーツ演習 | | |
| | 選択領域理論・実習 | 選択 | 30単位 | ★衛生学及び公衆衛生学<br>スポーツ栄養学<br>運動器機能解剖 | | ★スポーツ医学（含救急法，看護法）<br>★スポーツ生理学<br>スポーツマネジメント論<br>ベーシックコーチング論<br>発育発達論<br>アスレティックコンディショニング<br>バイオメカニクス<br>スポーツデータサイエンス<br>体力トレーニング論<br>体力トレーニング実習<br>野外教育論<br>ニュースポーツ<br>レクリエーション演習Ⅰ<br>レクリエーション演習Ⅱ<br>エアロビックダンス | | ★学校保健（含小児保健，精神保健，学校安全）<br>スポーツカウンセリング<br>身体学<br>体育測定・統計<br>舞踊教育論<br>音楽効果論<br>コンテンポラリーダンス | | |
| | 選択必修 | | | | | | 2 | ゼミナールⅠａ<br>ゼミナールⅠｂ | 4 | ゼミナールⅡａ（含卒業研究）<br>ゼミナールⅡｂ（含卒業研究） |
| | | | | | | 教養科目の超過分　専門科目の超過分　教職科目中の指定科目 | | | | |
| 卒業要件単位数 | | | | １２４単位 | | | | | | |

注）★印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目

注）★S印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目だが、★S印の中で1科目を選択すること

| 分野 | 区分 | 履修単位 | 1　年　次 | 履修単位 | 2　年　次 | 履修単位 | 3　年　次 | 履修単位 | 4　年　次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教職科目 | 教免必修 | 41 | 教職論<br>＃ICT活用教育に関する理論及び方法<br>＃生徒指導論（含進路指導） | | 教育原理　教育行政学　教育心理学<br>＃教育課程論<br>＃保健体育科教育法（体育）Ⅰ<br>＃保健体育科教育法（体育）Ⅱ<br>＃保健体育科教育法（保健）Ⅰ<br>＃保健体育科教育法（保健）Ⅱ<br>総合的な学習の時間の指導法〈1/2〉<br>教育相談 | | 特別支援教育概論<br>＃体育実技指導研究<br>道徳の指導法<br>特別活動の指導法<br>教育の方法及び技術 | | 教職実践演習<br>教育実習 |

注）＃印は、卒業に必要な単位数に含めることができる指定科目

## 進路希望に即した履修モデル

東京女子体育短期大学　こどもスポーツ教育学科

### 履修モデル：スポーツ教育コース（小学校教諭）

小学校教諭免許状を取得し、小学校教員を目指す学生のための履修モデル

| 分野 | 区分 | 履修単位 | 1　年　次 | 履修単位 | 2　年　次 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教養科目 | 必修 | 7 | 藤村トヨの教育　キャリアデザイン　国語基礎講座<br>野外活動演習　情報機器演習Ⅰ・Ⅱ | 6 | 日本国憲法　英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ<br>体育理論　体育実技(含水泳) |
| 教養科目 | 選択 | | 数と思考 自然と生命 | | 歴史の探究 芸術の探究 社会の探究<br>スポーツ美の探究 女性と生活 |
| 教養科目 | 選択 | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | | |
| 専門科目　教科 | 必修 | 9 | 国語(含書写)　社会　算数　音楽Ａ<br>図画工作Ⅰ　体育 | 4 | 理科　総合表現（創作オペレッタ） |
| 専門科目　教科 | 選択 | | 生活　音楽ＢⅠ・Ⅱ　図画工作Ⅱ リズム遊び(含リトミック) | | 音楽ＢⅢ・Ⅳ |
| 専門科目　基礎理論 | 必修 | 4 | 教師論　教育原理(含学校の制度と経営) | | |
| 専門科目　対象理解 | 必修 | 2 | 発達心理学 | | |
| 専門科目　対象理解 | 選択 | | | | 子どもの身体学 幼児理解 |
| 専門科目　内容・方法　総論 | 必修 | | | 2 | 教育課程論 |
| 専門科目　内容・方法　教育内容指導法 | 必修 | 7 | 国語科教育法　社会科教育法　算数科教育法<br>理科教育法　音楽科教育法　図画工作科教育法<br>体育科教育法 | 3 | 道徳の指導法 総合的な学習の時間の指導法<br>特別活動の指導法 |
| 専門科目　内容・方法　教育内容指導法 | 選択必修 | | | | 生活科教育法 家庭科教育法<br>小学校英語教育法 |
| 専門科目　内容・方法　内容方法各論 | 必修 | 2 | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) | 5 | 特別支援教育概論　教育相談　生徒指導論(含進路指導) |
| 専門科目　内容・方法　内容方法各論 | 選択 | | | | レクリエーション演習Ⅰ・Ⅱ |
| 専門科目　総合演習 | 必修 | | | 2 | 教職実践演習 |
| 専門科目　実習 | 必修 | | | 5 | 教育実習(小) |
| 選択必修科目 | | 2 | | | |
| 選択科目 | | 3 | | | |
| 最低履修単位数 | | 70 | | | |

### 履修モデル：スポーツ教育コース（幼稚園教諭・小学校教諭）

幼稚園教諭と小学校教諭の両方の免許状を取得し、幼児から児童教育の幅広い授業科目の履修を希望する学生のための履修モデル

| 分野 | 区分 | 履修単位 | 1　年　次 | 履修単位 | 2　年　次 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教養科目 | 必修 | 7 | 藤村トヨの教育　キャリアデザイン　国語基礎講座<br>野外活動演習　情報機器演習Ⅰ・Ⅱ | 6 | 日本国憲法　英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ<br>体育理論　体育実技(含水泳) |
| 教養科目 | 選択 | | 数と思考 自然と生命 | | 歴史の探究 芸術の探究 社会の探究<br>スポーツ美の探究 女性と生活 |
| 教養科目 | 選択 | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | | |
| 専門科目　教科 | 必修 | 10 | 国語(含書写)　社会　算数　音楽Ａ 音楽ＢⅠ<br>図画工作Ⅰ　体育 | 4 | 理科　総合表現（創作オペレッタ） |
| 専門科目　教科 | 選択 | | 生活　音楽ＢⅡ　図画工作Ⅱ リズム遊び(含リトミック) | | 音楽ＢⅢ・Ⅳ |
| 専門科目　領域 | 必修 | 4 | 子どもと健康　子どもと環境　子どもと人間関係　子どもと表現 | | |
| 専門科目　基礎理論 | 必修 | 4 | 教師論　教育原理(含学校の制度と経営) | 2 | 保育者・教師論 |
| 専門科目　対象理解 | 必修 | 2 | 発達心理学 | 1 | 幼児理解 |
| 専門科目　対象理解 | 選択 | | | | 子どもの身体学 |
| 専門科目　内容・方法　総論 | 必修 | | | 5 | 教育課程論　保育・教育課程論　保育内容総論 |
| 専門科目　内容・方法　教育内容指導法 | 必修 | 18 | 国語科教育法　社会科教育法　算数科教育法<br>理科教育法　音楽科教育法 図画工作科教育法<br>体育科教育法<br>保育内容（人間関係）指導法　保育内容（環境）指導法<br>保育内容（言葉）指導法　保育内容（身体表現）指導法 | 6 | 道徳の指導法 総合的な学習の時間の指導法<br>特別活動の指導法<br>保育内容（健康）指導法<br>保育内容（音楽表現）指導法<br>保育内容（造形表現）指導法 |
| 専門科目　内容・方法　教育内容指導法 | 選択必修 | | | | 生活科教育法 家庭科教育法<br>小学校英語教育法 |
| 専門科目　内容・方法　内容方法各論 | 必修 | 2 | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) | 5 | 特別支援教育概論　教育相談　生徒指導論(含進路指導) |
| 専門科目　内容・方法　内容方法各論 | 選択 | | | | レクリエーション演習Ⅰ・Ⅱ |
| 専門科目　総合演習 | 必修 | | | 4 | 教職実践演習　保育・教職(幼稚園)実践演習 |
| 専門科目　実習 | 必修 | | | 6 | 教育実習(小)　教育実習指導（幼稚園） |
| 選択必修科目 | | 2 | | | |
| 最低履修単位数 | | 88 | | | |

**東京女子体育短期大学　こどもスポーツ教育学科**

## 履修モデル：スポーツ教育コース・こども教育コース（幼稚園教諭）

### 幼稚園教諭免許状を取得し、幼稚園教員を目指す学生のための履修モデル

| 分野 | 区分 | 履修単位 | 1　年　次 | 履修単位 | 2　年　次 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教養科目 | 必修 | 7 | 藤村トヨの教育　キャリアデザイン　国語基礎講座<br>野外活動演習　情報機器演習Ⅰ・Ⅱ | 6 | 日本国憲法　英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ<br>体育理論　体育実技(含水泳) |
| 教養科目 | 選択 | | 数と思考 自然と生命 | | 歴史の探究 芸術の探究 社会の探究<br>スポーツ美の探究 女性と生活 |
| 教養科目 | 選択 | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | | |
| 専門科目 教科 | 必修 | 2 | 音楽A 音楽BⅠ | 2 | 総合表現（創作オペレッタ） |
| 専門科目 教科 | 選択 | | 図画工作Ⅰ　体育　音楽BⅡ　子どもの造形と遊び | | 音楽BⅢ・Ⅳ　リズム遊び(含リトミック) |
| 専門科目 領域 | 必修 | 4 | 子どもと健康　子どもと環境　子どもと人間関係　子どもと表現 | | |
| 専門科目 基礎理論 | 必修 | 2 | 教育原理(含学校の制度と経営) | 2 | 保育者・教師論 |
| 専門科目 対象理解 | 必修 | 2 | 発達心理学 | 1 | 幼児理解 |
| 専門科目 対象理解 | 選択 | | | | 子どもの身体学 |
| 専門科目 内容・方法 総論 | 必修 | | | 3 | 保育・教育課程論　保育内容総論 |
| 専門科目 内容・方法 教育内容指導法 | 必修 | 4 | 保育内容（人間関係）指導法　保育内容（環境）指導法<br>保育内容（言葉）指導法　保育内容（身体表現）指導法 | 3 | 保育内容（健康）指導法<br>保育内容（音楽表現）指導法<br>保育内容（造形表現）指導法 |
| 専門科目 内容・方法 各論方法内容 | 必修 | 2 | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) | 3 | 特別支援教育概論　教育相談 |
| 専門科目 内容・方法 各論方法内容 | 選択 | | | | レクリエーション演習Ⅰ・Ⅱ |
| 専門科目 総合演習 | 必修 | | | 2 | 保育・教職(幼稚園)実践演習 |
| 専門科目 実習 | 必修 | 1 | 教育実習指導（幼稚園） | 5 | 教育実習（幼稚園）Ⅰ・Ⅱ |
| 選択科目 | | 4 | | | |
| 教養科目・専門科目(選択) | | 10 | | | |
| 最低履修単位数 | | 65 | | | |

## 履修モデル：こども教育コース（幼稚園教諭・保育士）

### 幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を取得し、幼稚園教諭または保育士を目指す学生のための履修モデル

| 分野 | 区分 | 履修単位 | 1　年　次 | 履修単位 | 2　年　次 |
|---|---|---|---|---|---|
| 教養科目 | 必修 | 7 | 藤村トヨの教育　キャリアデザイン　国語基礎講座<br>野外活動演習　情報機器演習Ⅰ・Ⅱ | 6 | 日本国憲法　英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ<br>体育理論　体育実技(含水泳) |
| 教養科目 | 選択 | | 数と思考 自然と生命 | | 歴史の探究 芸術の探究 社会の探究<br>スポーツ美の探究 女性と生活 |
| 教養科目 | 選択 | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | | |
| 専門科目 教科 | 必修 | 2 | 音楽A　音楽BⅠ | 2 | 総合表現（創作オペレッタ） |
| 専門科目 教科 | 選択 | | 音楽BⅡ　リズム遊び（含リトミック） | | 音楽BⅢ　音楽BⅣ |
| 専門科目 領域 | 必修 | 4 | 子どもと健康　子どもと環境　子どもと人間関係　子どもと表現 | | |
| 専門科目 基礎理論 | 必修 | 8 | 教育原理(含学校の制度と経営)　保育原理<br>子ども家庭福祉　社会福祉 | 6 | 保育者・教師論　子ども家庭支援論<br>社会的養護Ⅰ |
| 専門科目 基礎理論 | 選択必修♯ | | | | 児童福祉施設研究 |
| 専門科目 対象理解 | 必修 | 6 | 発達心理学　子どもの保健　子どもの食と栄養 | 3 | 幼児理解　子ども家庭支援の心理学 |
| 専門科目 対象理解 | 選択必修♯ | | | | こども学　子どもの身体学 |
| 専門科目 内容・方法 総論 | 必修 | | | 3 | 保育・教育課程論　保育内容総論 |
| 専門科目 内容・方法 教育内容指導法 | 必修 | 4 | 保育内容（人間関係）指導法　保育内容（環境）指導法<br>保育内容（言葉）指導法　保育内容（身体表現）指導法 | 3 | 保育内容（健康）指導法<br>保育内容（音楽表現）指導法<br>保育内容（造形表現）指導法 |
| 専門科目 内容・方法 各論方法内容 | 必修 | 4 | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)<br>障害児保育Ⅰ（含特別支援教育）<br>障害児保育Ⅱ（含特別支援教育） | 9 | 特別支援教育概論　教育相談　乳児保育Ⅰ<br>乳児保育Ⅱ　子どもの健康と安全<br>社会的養護Ⅱ　子育て支援 |
| 専門科目 内容・方法 各論方法内容 | 選択 | | | | レクリエーション演習Ⅰ・Ⅱ |
| 専門科目 総合演習 | 必修 | | | 2 | 保育・教職(幼稚園)実践演習 |
| 専門科目 実習 | 必修 | 1 | 教育実習指導（幼稚園） | 5 | 教育実習(幼稚園)Ⅰ・Ⅱ |
| 専門科目 実習 | 必修 | 6 | 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所)<br>保育実習Ⅰ(施設) | | |
| 専門科目 実習 | 選択必修♭ | | | 6 | 保育実習指導Ⅱ　保育実習Ⅱ<br>保育実習指導Ⅲ　保育実習Ⅲ |
| 専門科目(選択必修♯) | | 2 | | | |
| 専門科目(選択必修♭) | | 3（Ⅱ又はⅢのいずれかを選択） | | | |
| 最低履修単位数 | | 86 | | | |

## 履修モデル：こども教育コース（保育士）

保育士資格を取得し、保育士を目指す学生のための履修モデル

| 分野 | | | 区分 | 履修単位 | 1　年　次 | 履修単位 | 2　年　次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教養科目 | | | 必修 | 7 | 藤村トヨの教育　キャリアデザイン　国語基礎講座<br>野外活動演習　情報機器演習Ⅰ・Ⅱ | 4 | 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ<br>体育理論　体育実技(含水泳) |
| 教養科目 | | | 選択 | | 数と思考 自然と生命 | | 日本国憲法　歴史の探究 芸術の探究 社会の探究<br>スポーツ美の探究 女性と生活 |
| 教養科目 | | | 選択 | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | | |
| 専門科目 | 教科 | | 必修 | 1 | 音楽A | 2 | 総合表現（創作オペレッタ） |
| 専門科目 | 教科 | | 選択 | | 音楽BⅠ　音楽BⅡ　リズム遊び（含リトミック） | | 音楽BⅢ　音楽BⅣ |
| 専門科目 | 領域 | | 必修 | 4 | 子どもと健康　子どもと環境　子どもと人間関係　子どもと表現 | | |
| 専門科目 | 基礎理論 | | 必修 | 8 | 教育原理(含学校の制度と経営)　保育原理<br>子ども家庭福祉　社会福祉 | 6 | 保育者・教師論　子ども家庭支援論<br>社会的養護Ⅰ |
| 専門科目 | 基礎理論 | | 選択必修♯ | | | | 児童福祉施設研究 |
| 専門科目 | 対象理解 | | 必修 | 6 | 発達心理学　子どもの保健　子どもの食と栄養 | 3 | 幼児理解　子ども家庭支援の心理学 |
| 専門科目 | 対象理解 | | 選択必修♯ | | | | こども学　子どもの身体学 |
| 専門科目 | 内容・方法 | 総論 | 必修 | | | 3 | 保育・教育課程論　保育内容総論 |
| 専門科目 | 内容・方法 | 教育内容指導法 | 必修 | 4 | 保育内容（人間関係）指導法　保育内容（環境）指導法<br>保育内容（言葉）指導法　保育内容（身体表現）指導法 | 1 | 保育内容（健康）指導法 |
| 専門科目 | 内容・方法 | 教育内容指導法 | 選択必修♯ | | | 2 | 保育内容（音楽表現）指導法　保育内容（造形表現）指導法 |
| 専門科目 | 内容・方法 | 内容方法各論 | 必修 | 2 | 障害児保育Ⅰ（含特別支援教育）<br>障害児保育Ⅱ（含特別支援教育） | 8 | 乳児保育Ⅰ<br>乳児保育Ⅱ　子どもの健康と安全<br>社会的養護Ⅱ　子育て支援 |
| 専門科目 | 内容・方法 | 内容方法各論 | 選択 | | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) | | 教育相談　レクリエーション演習Ⅰ・Ⅱ |
| 専門科目 | 総合演習 | | 必修 | | | 2 | 保育・教職(幼稚園)実践演習 |
| 専門科目 | 実習 | | 必修 | 6 | 保育実習指導Ⅰ　保育実習Ⅰ(保育所)<br>保育実習Ⅰ(施設) | | |
| 専門科目 | 実習 | | 選択必修♭ | | | 6 | 保育実習指導Ⅱ　保育実習Ⅱ<br>保育実習指導Ⅲ　保育実習Ⅲ |
| 専門科目(選択必修♯) | | | | 4 | | | |
| 専門科目(選択必修♭) | | | | 3 （Ⅱ又はⅢのいずれかを選択） | | | |
| 最低履修単位数 | | | | 72 | | | |

# V 授業科目表

東京女子体育大学 体育学部体育学科（令和７年度カリキュラム）

| 半期 | 集中授業(学内･学外) |
|---|---|
| ○ | ◎ |

（令和７年度入学生）

| 領域・系統 | | 授業科目 | 授業形式 | 単位 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 履修区分 | 最低修得単位数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教養に関する科目 | 藤村ベーシック | 藤村トヨの教育 | 講義・演習 | 1 | ○ | | | | 必修 | ４単位 | |
| | | 国語基礎講座 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | キャリアデザイン | 講義・演習 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 探究の論理 | 講義 | 2 | | ○ | | | 選択必修 | ４単位 | |
| | | 体育・スポーツ学入門 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | キャリア探究講座 | 講義・演習 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 一般教養 人文系 | 歴史の探究 | 講義 | 2 | ○ | | | | 選択必修 | １２単位 | ※印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目 |
| | | 日本語の探究 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | 芸術の探究 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | 一般教養 社会系 | 社会の探究 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | 日本国憲法 ※ | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | スポーツ美の探究 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | 女性と生活 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 一般教養 自然科学系 | 数と思考 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | 自然と生命 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | 情報リテラシー ※ | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | 一般教養 語学系 | 英語表現Ⅰ | 演習 | 1 | | ○ | | | | | |
| | | 英語表現Ⅱ | 演習 | 1 | | ○ | | | | | |
| | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | 演習 | 2 | ◎ | | | | | | |
| | | 英語コミュニケーションⅠ ※S | 演習 | 1 | ○ | | | | 選択必修 | ２単位 | 1つの外国語を選択しⅠ・Ⅱを必修とする<br>※Ｓ印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目だが、1つの言語を選択し、2単位修得すること |
| | | 英語コミュニケーションⅡ ※S | 演習 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | ドイツ語コミュニケーションⅠ ※S | 演習 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | ドイツ語コミュニケーションⅡ ※S | 演習 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 韓国語コミュニケーションⅠ ※S | 演習 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 韓国語コミュニケーションⅡ ※S | 演習 | 1 | ○ | | | | | | |
| | 自己形成 | ボランティア理論 | 講義 | 1 | ◎ | | | | 選択 | | |
| | | ボランティア実習 | 実習 | 1 | ◎ | | | | | | |
| | | キャリアトレーニング | 実習 | 1 | | ◎ | | | | | |
| | | インターンシップ | 実習 | 1 | | | ◎ | | | | |
| | | | | | | | | | 計 | 22 | 単位（a） |

| 領域・系統 | | 授業科目 | 授業形式 | 単位 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 履修区分 | 最低修得単位数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専門に関する科目 | 基礎理論 | スポーツ運動学（含運動方法） ※ | 講義 | 2 | ○ | | | | 選択必修 | ６単位 | ※印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目 |
| | | 生 理 学 ※ | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | スポーツ原理 ※ | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | スポーツ心理学 ※ | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | スポーツ史 ※ | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | 基礎実技 | 体つくり運動Ⅰa ※ | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | 選択必修 | ４単位 | ※印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目<br>※Ｓ印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目だが、枠の中で1科目を選択すること |
| | | 器械運動Ⅰa ※ | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 陸上競技Ⅰa ※ | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | ダ ン スⅠa ※ | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 水　泳　Ⅰa ※ | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 球技（バレーボール） ※S | 実技･講義 | 1 | ←○ | | | | 必修 選択 | １単位 | 時間割により開講期が変更となる科目 |
| | | 球技（バスケットボール） ※S | 実技･講義 | 1 | ○→ | | | | | | |
| | | 武道（柔道） ※S | 実技･講義 | 1 | | ←○ | | | 必修 選択 | １単位 | |
| | | 武道（剣道） ※S | 実技･講義 | 1 | | ○→ | | | | | |
| | | 体つくり運動Ⅰb | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | 選択必修 | １単位 | 1～4年生の【後期】に履修可能な科目<br>※実技は、Ⅰ→Ⅱの順に履修すること。 |
| | | 器械運動Ⅰb | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 陸上競技Ⅰb | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | ダ ン スⅠb | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 水　泳　Ⅰb | 実技･講義 | 1 | ○ | | | | | | |
| | | 新体操 | 実技･講義 | 1 | | ←○ | | | 選択必修 | １単位 | 時間割により開講期が変更となる科目 |
| | | 器械運動Ⅱ | 実技･講義 | 1 | | ○→ | | | | | |
| | | 陸上競技Ⅱ | 実技･講義 | 1 | | ←○ | | | | | |
| | | ダ ン スⅡ | 実技･講義 | 1 | | ○→ | | | | | |
| | | 球技（ソフトボール・ハンドボール） ※S | 実技･講義 | 1 | | ←○ | | | | | |
| | | 球技（テニス・バドミントン） ※S | 実技･講義 | 1 | | ○→ | | | | | |
| | アウトドア実習 | マリンスポーツ実習 ※S | 実習 | 1 | | ◎ | | | 選択必修 | １単位 | ※Ｓ印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目だが、枠の中で1科目を選択すること |
| | | キャンプ実習 ※S | 実習 | 1 | | ◎ | | | | | |
| | | スキー実習 ※S | 実習 | 1 | | ◎ | | | | | |
| | | スノーボード実習 ※S | 実習 | 1 | | ◎ | | | | | |
| | | | | | | | | | 計 | 15 | 単位（b） |

| 領域・系統 | | | 授業科目 | 授業形式 | 単位 | 標準履修学年 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 履修区分 | 最低修得単位数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専門に関する科目 | 教職体育学専攻コース | 専攻理論 | 体育科教育学 | 講義 | 2 | | | ○ | | 選択必修 | 6単位 | |
| | | | 学校ネットワーク論 | 講義 | 2 | | | | ○ | | | |
| | | | 未来の学校教育実践論 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | 体育カリキュラム論 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | 専攻実習 | 学校体験学習 | 演習 | 1 | | | ◎ | | 選択必修 | 4単位 | |
| | | | 体つくり運動指導方法及び実習 | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | | 器械運動指導方法及び実習 | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | | 陸上競技指導方法及び実習 | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | | 球技指導方法及び実習（バレー、ソフト） | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | | 球技指導方法及び実習（バスケ、ハンド） | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | | 水泳指導方法及び実習 | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | | ダンス指導方法及び実習 | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | | 武道指導方法及び実習（柔道、剣道） | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | スポーツ健康学専攻コース | 専攻理論 | 予防医学 | 講義 | 2 | | | ○ | | 選択必修 | 6単位 | |
| | | | 運動処方論 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | 行動栄養学 | 講義 | 2 | | | | ○ | | | |
| | | | アダプテッドスポーツ論 | 講義 | 2 | | | | ○ | | | |
| | | 専攻実習 | 体力評価の理論と実習 | 演習 | 2 | | | ○ | | 選択必修 | 4単位 | |
| | | | 健康評価の理論と実習 | 演習 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | 健康体力づくり指導方法及び実習 | 演習 | 1 | | | | ○ | | | |
| | | | アスレティックリハビリテーション演習 | 演習 | 1 | | | | ○ | | | |
| | | | 健康運動指導演習 | 演習 | 2 | | | | ○ | | | |
| | | | 健康マラソン・ウォーキング実習 | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | | 健康づくり体験実習 | 演習 | 1 | | | ◎ | | | | |
| | | | スポーツ医学演習　（健康運動指導士等資格関連） | 演習 | 1 | | | ◎ | | 卒業要件単位に含めない資格関連科目 | | |
| | | | スポーツ健康学実習　（健康運動指導士資格関連） | 演習 | 1 | | | | ◎ | | | |
| | | | スポーツ関連施設実習（健康運動指導士資格関連） | 演習 | 1 | | | | ◎ | | | |
| | コーチング学専攻コース | 専攻理論 | スポーツ技術論 | 講義 | 2 | | | ○ | | 選択必修 | 6単位 | |
| | | | スポーツ戦術論 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | 運動観察論 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | アドバンストコーチング論 | 講義 | 2 | | | | ○ | | | |
| | | 専攻実習 | 新体操競技コーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | 選択必修 | 4単位 | 1つの競技種目を選択し、競技論・表現論、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを連続履修すること。 |
| | | | 体操競技コーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | | | 陸上競技コーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | | | バレーボールコーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | | | バスケットボールコーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | | | ハンドボールコーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | | | ソフトボールコーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | | | 柔道コーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | | | 剣道コーチング論及び実習(競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | | | ダンスコーチング論及び実習(表現論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) | 講義・演習 | 4 | | | ○ ○ | ○ ○ | | | |
| | スポーツマネジメント学専攻コース | 専攻理論 | スポーツ行政学 | 講義 | 2 | | | ○ | | 選択必修 | 6単位 | |
| | | | スポーツ社会学 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | スポーツ産業論 | 講義 | 2 | | | | ○ | | | |
| | | | アウトドアスポーツ論 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | 専攻実習 | 部活動マネジメント演習 | 演習 | 2 | | | ○ | | 選択必修 | 4単位 | 同一学期に履修できるのは2科目までとする。各科目の履修者数について、人数制限を設ける可能性あり。 |
| | | | スポーツメディア演習 | 演習 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | 地域スポーツ演習 | 演習 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | スポーツマネジメント演習 | 演習 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | | アウトドアスポーツ演習 | 演習 | 2 | | | ○ | | | | |

計　10　単位（c）

| 領域・系統 | | 授業科目 | 授業形式 | 単位 | 標準履修学年 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 履修区分 | 最低修得単位数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専門に関する科目 | 選択領域理論・実習・演習 | 学校保健(含小児保健，精神保健，学校安全) ※ | 講義 | 2 | | | ○ | | 選択必修 | ３０単位 | ※印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目 |
| | | 衛生学及び公衆衛生学 ※ | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | スポーツ医学（含救急法,看護法） ※ | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | スポーツ生理学 ※ | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | スポーツマネジメント論 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | スポーツカウンセリング | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | スポーツ栄養学 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | ベーシックコーチング論 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | 身体学 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | 発育発達論 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | 運動器機能解剖 | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | | アスレティックコンディショニング | 講義 | 1 | | ◎ | | | | | |
| | | バイオメカニクス | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | 体育測定・統計 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | スポーツデータサイエンス | 講義・演習 | 1 | | ○ | | | | | |
| | | 舞踊教育論 | 演習 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | 音楽効果論 | 演習 | 2 | | | ○ | | | | |
| | | 体力トレーニング論 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | 体力トレーニング実習 | 演習 | 1 | | ○ | | | | | |
| | | 野外教育論 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | | ニュースポーツ | 演習 | 1 | | ○ | | | | | |
| | | レクリエーション演習Ⅰ | 演習 | 1 | | ○ | | | | | |
| | | レクリエーション演習Ⅱ | 演習 | 1 | | ○ | | | | | |
| | | コンテンポラリーダンス | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | | エアロビックダンス | 演習 | 1 | | ○ | | | | | |

計　30　単位（d）

| 授業科目 | | 授業形式 | 単位 | 標準履修学年 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 履修区分 | 最低修得単位数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専門に関する科目 | ゼミナールＩａ | 演習 | 1 | | | ○ | | 必修 | ６単位 | Ｉａ、Ｉｂ、Ⅱａ、Ⅱｂを連続履修する |
| | ゼミナールＩｂ | 演習 | 1 | | | ○ | | | | |
| | ゼミナールⅡａ（含卒業研究） | 演習 | 2 | | | | ○ | | | |
| | ゼミナールⅡｂ（含卒業研究） | 演習 | 2 | | | | ○ | | | |

計　6　単位（e）

| | |
|---|---|
| 教養科目の科目のうち、最低修得単位数を超えて履修した科目 | 左記により修得した余剰単位（f） |
| 専門に関する科目のうち、最低修得単位数を超えて履修した科目 | |
| 教職に関する科目のうち、指定科目から履修した科目（＃） | |

**卒業に必要な最低修得単位数　＜上記（a）～（f）の合計単位数＞　合計　124　単位**

| 授業科目 | | 授業形式 | 単位 | 標準履修学年 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 履修区分 | 最低修得単位数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教職に関する科目 | 教職論 | 講義 | 2 | ○ | | | | 教職必修 | ２０科目<br>４１単位 | ＃印は、卒業に必要な単位数に含めることができる指定科目 |
| | 教育原理 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 教育行政学 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 教育心理学 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 特別支援教育概論<1/2> | 講義 | 1 | | | ○ | | | | |
| | 教育課程論 ＃ | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 保健体育科教育法（体育）Ⅰ ＃ | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 保健体育科教育法（体育）Ⅱ ＃ | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 体育実技指導研究 ＃ | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | 保健体育科教育法（保健）Ⅰ ＃ | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 保健体育科教育法（保健）Ⅱ ＃ | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 道徳の指導法 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | 総合的な学習の時間の指導法<1/2> | 講義 | 1 | | ○ | | | | | |
| | 特別活動の指導法 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | 教育の方法及び技術 | 講義 | 2 | | | ○ | | | | |
| | ICT活用教育に関する理論及び方法 ＃ | 講義 | 2 | ○ | | | | | | （情報通信技術の活 |
| | 生徒指導論（含進路指導） ＃ | 講義 | 2 | ○ | | | | | | |
| | 教育相談 | 講義 | 2 | | ○ | | | | | |
| | 教職実践演習 | 演習 | 2 | | | | ○ | | | |
| | 教育実習 | 実習 | 5 | | | | ◎ | | | |

注1）＃印は、卒業に必要な単位数に含めることができる指定科目
注2）※印は、教職免許状取得希望者の必修科目
注3）標準履修学年・開講期(前期・後期)は、時間割編成等の理由により変更することがある。

※令和7年度全面改正

東京女子体育短期大学 こどもスポーツ教育学科（令和7年度カリキュラム）

令和7年度入学生

【スポーツ教育コース】

● ：卒業(学位取得)に必要な必修科目

| 科目区分 | | | 授業科目 | 授業形式 | 単位 | 幼稚園教諭免許 小学校教諭免許 履修方法 区分 | 幼稚園教諭免許 小学校教諭免許 最低履修単位数 | 幼稚園教諭免許 履修方法 区分 | 幼稚園教諭免許 最低履修単位数 | 小学校教諭免許 履修方法 区分 | 小学校教諭免許 最低履修単位数 | 開講時期 1年 前期 | 開講時期 1年 後期 | 開講時期 2年 前期 | 開講時期 2年 後期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教養に関する科目 | 藤村ベーシック | | 藤村トヨの教育 | 講義・演習 | 1 | 必修 | 4単位 | 必修 | 4単位 | 必修 | 4単位 | ● | | | | |
| | | | 国語基礎講座 | 講義 | 2 | | | | | | | ● | | | | |
| | | | キャリアデザイン | 講義・演習 | 1 | | | | | | | ● | | | | |
| | 一般教養 | 人文系 | 歴史の探究 | 講義 | 2 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | | | | ○ | |
| | | | 芸術の探究 | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 社会系 | 社会の探究 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 日本国憲法 | 講義 | 2 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | | | | ○ | |
| | | | スポーツ美の探究 | 講義 | 2 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | | | ○ | | |
| | | | 女性と生活 | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 自然科学系 | 数と思考 | 講義 | 2 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 自然と生命 | 講義 | 2 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 野外活動演習 | 演習 | 1 | 必修 | 1単位 | 必修 | 1単位 | 必修 | 1単位 | ● | | | | 集中授業 |
| | | 語学・情報科目 | 英語コミュニケーションⅠ | 演習 | 1 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | | | ● | | |
| | | | 英語コミュニケーションⅡ | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | 演習 | 2 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | ◎ | | | | 集中授業・隔年開講 |
| | | | 情報機器演習Ⅰ | 演習 | 1 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | ● | | | | |
| | | | 情報機器演習Ⅱ | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | 体育科目 | | 体育理論 | 講義 | 1 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | | | ● | | |
| | | | 体育実技(含水泳) | 実技 | 1 | | | | | | | | | | ● | |
| | 教養科目 計 | | | | | 必修 | 13単位 | 必修 | 13単位 | 必修 | 13単位 | | | | | |
| 専門に関する科目 | 教科科目 | | 国語(含書写) | 講義 | 2 | 必修 | 8単位 | ／ | | 必修 | 8単位 | ○ | | | | |
| | | | 社会 | 講義 | 2 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 算数 | 講義 | 2 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 理科 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 生活 | 講義 | 2 | 選択 | | | | 選択 | | | ○ | | | |
| | | | 音楽A | 演習 | 1 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 1単位 | ● | | | | |
| | | | 音楽BⅠ | 演習 | 1 | | | | | 選択 | | ○ | | | | |
| | | | 音楽BⅡ | 演習 | 1 | 選択 | | 選択 | | | | | ○ | | | |
| | | | 音楽BⅢ | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 音楽BⅣ | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | 図画工作Ⅰ | 演習 | 1 | 必修 | 1単位 | | | 必修 | 1単位 | ○ | | | | |
| | | | 図画工作Ⅱ | 演習 | 1 | 選択 | | | | 選択 | | | ○ | | | |
| | | | リズム遊び(含リトミック) | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 体育 | 演習 | 1 | 必修 | 1単位 | | | 必修 | 1単位 | | ○ | | | |
| | | | 総合表現(創作オペレッタ) | 演習 | 2 | | 2単位 | 必修 | 2単位 | | 2単位 | | | ○ | ○ | |
| | 領域科目 | | 子どもと健康 | 演習 | 1 | 必修 | 4単位 | 必修 | 4単位 | 選択 | | ○ | | | | |
| | | | 子どもと環境 | 演習 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 子どもと人間関係 | 演習 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 子どもと表現 | 演習 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 子どもの造形と遊び | 演習 | 1 | 選択 | | 選択 | | | | | | ○ | | |
| | | | 子どもの運動と遊び | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | 選択実技（時間割により実施科目変動） | 器械運動Ⅰa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 器械運動Ⅰb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 陸上競技Ⅰb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 水 泳 Ⅰa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 水 泳 Ⅰb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 球技(バレーボール) | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○→ | | | | |
| | | | 球技(バスケットボール) | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○→ | | | | |
| | | | 新 体 操 | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | | ○→ | | |
| | | 資格関連科目 | 体つくり運動Ⅰa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 体つくり運動Ⅰb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 陸上競技Ⅰa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | ダンスⅠa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | ダンスⅠb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |

| 科目区分 | | | 授業科目 | 授業形式 | 単位 | 幼稚園教諭免許 小学校教諭免許 履修方法 区分 | 幼稚園教諭免許 小学校教諭免許 履修方法 最低履修単位数 | 幼稚園教諭免許 履修方法 区分 | 幼稚園教諭免許 履修方法 最低履修単位数 | 小学校教諭免許 履修方法 区分 | 小学校教諭免許 履修方法 最低履修単位数 | 開講時期 1年 前期 | 開講時期 1年 後期 | 開講時期 2年 前期 | 開講時期 2年 後期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専門に関する科目 | 領域科目 | 資格関連科目 | スポーツ原理 | 講義 | 2 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | ○ | | | | |
| | | | スポーツ心理学 | 講義 | 2 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | ベーシックコーチング論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | アダプテッドスポーツ論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | スポーツ医学(含救急法,看護法) | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | 体育測定・統計 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 体力トレーニング論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 体力トレーニング実習 | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | 運動処方論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | マリンスポーツ実習 | 実習 | 1 | | | | | | | | | ◎ | | |
| | | | キャンプ実習 | 実習 | 1 | | | | | | | ◎ | | | | |
| | | | スキー実習 | 実習 | 1 | | | | | | | | ◎ | | | |
| | | | スノーボード実習 | 実習 | 1 | | | | | | | | ◎ | | | |
| | 基礎理論科目 | | 教師論 | 講義 | 2 | 必修 | 6単位 | | | 必修 | 2単位 | ○ | | | | |
| | | | 保育者・教師論 | 講義 | 2 | | | 必修 | 4単位 | | | | | ○ | | |
| | | | 教育原理(含学校の制度と経営) | 講義 | 2 | | | | | 必修 | 2単位 | ● | | | | |
| | 対象理解科目 | | 子どもの身体学 | 講義 | 2 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | | | | ○ | |
| | | | 発達心理学 | 講義 | 2 | 必修 | 3単位 | 必修 | 3単位 | 必修 | 2単位 | | ● | | | |
| | | | 幼児理解 | 演習 | 1 | | | | | 選択 | | | | | ○ | |
| | 内容・方法科目 | 総論 | 教育課程論 | 講義 | 2 | 必修 | 5単位 | | | 必修 | 2単位 | | | | ○ | |
| | | | 保育・教育課程論 | 講義 | 2 | | | 必修 | 3単位 | | | | | | ○ | |
| | | | 保育内容総論 | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 教育内容指導法 | 国語科教育法 | 講義・演習 | 2 | 必修 | 8単位 | | | 必修 | 8単位 | ○ | ○ | | | |
| | | | 社会科教育法 | 講義・演習 | 2 | | | | | | | ○ | ○ | | | |
| | | | 算数科教育法 | 講義・演習 | 2 | | | | | | | ○ | ○ | | | |
| | | | 理科教育法 | 講義・演習 | 2 | | | | | | | ○ | ○ | | | |
| | | | 生活科教育法 | 講義・演習 | 2 | 選択必修 | # | | | 選択必修 | # | | | ○ | | |
| | | | 音楽科教育法 | 講義・演習 | 2 | 必修 | 4単位 | | | 必修 | 4単位 | | ○ | ○ | | |
| | | | 図画工作科教育法 | 講義・演習 | 2 | | | | | | | | ○ | ○ | | |
| | | | 家庭科教育法 | 講義・演習 | 2 | 選択必修 | # | | | 選択必修 | # | | | | ○ | |
| | | | 体育科教育法 | 講義・演習 | 2 | 必修 | 2単位 | | | 必修 | 2単位 | ○ | ○ | | | |
| | | | 小学校英語教育法 | 講義・演習 | 2 | 選択必修 | # | | | 選択必修 | # | | | | ○ | |
| | | | 保育内容(健康)指導法 | 演習 | 1 | 必修 | 10単位 | 必修 | 7単位 | | | | | ○ | | |
| | | | 保育内容(人間関係)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 保育内容(環境)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 保育内容(言葉)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 保育内容(身体表現)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 保育内容(音楽表現)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 保育内容(造形表現)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 道徳の指導法 | 講義 | 1 | | | | | 必修 | 3単位 | | | ○ | | |
| | | | 総合的な学習の時間の指導法(1/2) | 講義 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 特別活動の指導法(1/2) | 講義 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | 内容・方法各論 | 生徒指導論(含進路指導) | 講義 | 2 | 必修 | 7単位 | | | 必修 | 7単位 | | | | ○ | |
| | | | 特別支援教育概論(1/2) | 講義 | 1 | | | 必修 | 5単位 | | | | | ○ | | |
| | | | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) | 講義 | 2 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 教育相談 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | レクリエーション演習Ⅰ | 演習 | 1 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | | | ○ | | |
| | | | レクリエーション演習Ⅱ | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | 総合演習科目 | | 教職実践演習 | 演習 | 2 | 必修 | 4単位 | | | 必修 | 2単位 | | | | ○ | |
| | | | 保育・教職(幼稚園)実践演習 | 演習 | 2 | | | 必修 | 2単位 | | | | | | ○ | |
| | 実習科目 | | 教育実習(小) | 実習 | 5 | 必修 | 5単位 | | | 必修 | 5単位 | | | ○ | | 2年次:6月4週間 |
| | | | 教育実習指導(幼稚園) | 演習 | 1 | | 1単位 | 必修 | 6単位 | | | | ○ | | | |
| | | | 教育実習(幼稚園)Ⅰ | 実習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 教育実習(幼稚園)Ⅱ | 実習 | 4 | | | | | | | | | ○ | | 2年次:6月4週間 |
| | 専門科目 計 | | | | | 必修 | 73単位 | 必修 | 38単位 | 必修 | 52単位 | | | | | |
| 選択必修科目#から2単位以上 | | | | | | 選択必修 | 2単位 | 選択必修 | | 選択必修 | 2単位 | | | | | |
| | | | | | | | | 選択 | 4単位 | 選択 | 3単位 | | | | | |
| 教養科目・専門科目 | | | | | | | | 選択 | 10単位 | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | 88単位 | | 65単位 | | 70単位 | | | | | | |

東京女子体育短期大学 こどもスポーツ教育学科（令和7年度カリキュラム）

令和7年度入学生

【こども教育コース】

●：卒業(学位取得)に必要な必修科目

| 科目区分 | | | 授業科目 | 授業形式 | 単位 | 幼稚園教諭免許 保育士資格 履修方法 区分 | 幼稚園教諭免許 保育士資格 履修方法 最低履修単位数 | 幼稚園教諭免許 履修方法 区分 | 幼稚園教諭免許 履修方法 最低履修単位数 | 保育士資格 履修方法 区分 | 保育士資格 履修方法 最低履修単位数 | 開講時期 1年 前期 | 開講時期 1年 後期 | 開講時期 2年 前期 | 開講時期 2年 後期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教養に関する科目 | 藤村ベーシック | | 藤村トヨの教育 | 講義・演習 | 1 | 必修 | 4単位 | 必修 | 4単位 | 必修 | 4単位 | ● | | | | |
| | | | 国語基礎講座 | 講義 | 2 | | | | | | | ● | | | | |
| | | | キャリアデザイン | 講義・演習 | 1 | | | | | | | ● | | | | |
| | 一般教養 | 人文系 | 歴史の探究 | 講義 | 2 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | | | | ○ | |
| | | | 芸術の探究 | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 社会系 | 社会の探究 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 日本国憲法 | 講義 | 2 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | | | | | | ○ | |
| | | | スポーツ美の探究 | 講義 | 2 | 選択 | | 選択 | | | | | | ○ | | |
| | | | 女性と生活 | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 自然科学系 | 数と思考 | 講義 | 2 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 自然と生命 | 講義 | 2 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 野外活動演習 | 演習 | 1 | 必修 | 1単位 | 必修 | 1単位 | 必修 | 1単位 | ● | | | | 集中授業 |
| | | 語学・情報科目 | 英語コミュニケーションⅠ | 演習 | 1 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 1単位 | | | ● | | |
| | | | 英語コミュニケーションⅡ | 演習 | 1 | | | | | 選択 | | | | | ○ | |
| | | | オーストラリア英語研修（隔年開講） | 演習 | 2 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | ◎ | | | | 集中授業・隔年開講 |
| | | | 情報機器演習Ⅰ | 演習 | 1 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 1単位 | ● | | | | |
| | | | 情報機器演習Ⅱ | 演習 | 1 | | | | | 選択 | | | ○ | | | |
| | 体育科目 | | 体育理論 | 講義 | 1 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | | | ● | | |
| | | | 体育実技（含水泳） | 実技 | 1 | | | | | | | | | | ● | |
| | 教養科目　計 | | | | | 必修 | 13単位 | 必修 | 13単位 | 必修 | 9単位 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 選択 | 2単位 | | | | | |
| 専門に関する科目 | 教科科目 | | 音楽A | 演習 | 1 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 1単位 | ● | | | | |
| | | | 音楽BⅠ | 演習 | 1 | | | | | 選択 | | ○ | | | | |
| | | | 音楽BⅡ | 演習 | 1 | 選択 | | 選択 | | | | | ○ | | | |
| | | | 音楽BⅢ | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 音楽BⅣ | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | リズム遊び（含リトミック） | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 総合表現（創作オペレッタ） | 演習 | 2 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | | | ○ | ○ | |
| | 領域科目 | | 子どもと健康 | 演習 | 1 | 必修 | 4単位 | 必修 | 4単位 | 必修 | 4単位 | ○ | | | | |
| | | | 子どもと環境 | 演習 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 子どもと人間関係 | 演習 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 子どもと表現 | 演習 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 子どもの造形と遊び | 演習 | 1 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | | | ○ | | |
| | | | 子どもの運動と遊び | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | 選択実技（時間割により実施科目変動） | 器械運動Ⅰa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 器械運動Ⅰb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 陸上競技Ⅰb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 水　泳　Ⅰa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 水　泳　Ⅰb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 球技（バレーボール） | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○→ | | | | |
| | | | 球技（バスケットボール） | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○→ | | | | |
| | | | 新 体 操 | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | | ○→ | | |
| | | 資格関連科目 | 体つくり運動Ⅰa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | 体つくり運動Ⅰb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | 陸上競技Ⅰa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | ダンスⅠa | 実技・講義 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | | ダンスⅠb | 実技・講義 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | 資格関連科目 | スポーツ原理 | 講義 | 2 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | ○ | | | | |
| | | | スポーツ心理学 | 講義 | 2 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | | ベーシックコーチング論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | アダプテッドスポーツ論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | スポーツ医学（含救急法,看護法） | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | 体育測定・統計 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 体力トレーニング論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | | 体力トレーニング実習 | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | | 運動処方論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |

| 科目区分 | | 授業科目 | 授業形式 | 単位 | 幼稚園教諭免許・保育士資格 履修方法 区分 | 幼稚園教諭免許・保育士資格 最低履修単位数 | 幼稚園教諭免許 履修方法 区分 | 幼稚園教諭免許 最低履修単位数 | 保育士資格 履修方法 区分 | 保育士資格 最低履修単位数 | 開講時期 1年 前期 | 1年 後期 | 2年 前期 | 2年 後期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専門に関する科目 | 領域科目 | マリンスポーツ実習 | 実習 | 1 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | | | ◎ | | |
| | | キャンプ実習 | 実習 | 1 | | | | | | | ◎ | | | | |
| | | スキー実習 | 実習 | 1 | | | | | | | | ◎ | | | |
| | | スノーボード実習 | 実習 | 1 | | | | | | | | ◎ | | | |
| | 基礎理論科目 | 保育者・教師論 | 講義 | 2 | 必修 | 14単位 | 必修 | 4単位 | 必修 | 14単位 | | | ○ | | |
| | | 教育原理(含学校の制度と経営) | 講義 | 2 | | | | | | | ● | | | | |
| | | 保育原理 | 講義 | 2 | | | 選択 | | | | ○ | | | | |
| | | 子ども家庭福祉 | 講義 | 2 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | 社会福祉 | 講義 | 2 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | 子ども家庭支援論 | 講義 | 2 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 社会的養護Ⅰ | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | 児童福祉施設研究 | 演習 | 1 | 選択必修 | ♯ | | | 選択必修 | ♯ | | | ○ | | |
| | 対象理解科目 | こども学 | 講義 | 2 | 選択必修 | ♯ | 選択 | | 選択必修 | ♯ | | | ○ | | |
| | | 子どもの身体学 | 講義 | 2 | | ♯ | 選択 | | | ♯ | | | | ○ | |
| | | 発達心理学 | 講義 | 2 | 必修 | 9単位 | 必修 | 3単位 | 必修 | 9単位 | | ● | | | |
| | | 幼児理解 | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 子ども家庭支援の心理学 | 講義 | 2 | | | 選択 | | | | | | ○ | | |
| | | 子どもの保健 | 講義 | 2 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | 子どもの食と栄養 | 演習 | 2 | | | | | | | ○ | ○ | | | |
| | 内容・方法科目 総論 | 保育・教育課程論 | 講義 | 2 | 必修 | 3単位 | 必修 | 3単位 | 必修 | 3単位 | | | | ○ | |
| | | 保育内容総論 | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | 内容・方法科目 教育内容指導法 | 保育内容(健康)指導法 | 演習 | 1 | 必修 | 7単位 | 必修 | 7単位 | 必修 | 5単位 | | | ○ | | |
| | | 保育内容(人間関係)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | 保育内容(環境)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | 保育内容(言葉)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | 保育内容(身体表現)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | 保育内容(音楽表現)指導法 | 演習 | 1 | | | | | 選択必修 | ♯ | | | ○ | | |
| | | 保育内容(造形表現)指導法 | 演習 | 1 | | | | | | ♯ | | | ○ | | |
| | 内容・方法科目 内容・方法各論 | 特別支援教育概論 (1/2) | 講義 | 1 | 必修 | 13単位 | 必修 | 5単位 | | | | | ○ | | |
| | | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) | 講義 | 2 | | | | | 選択 | | | ○ | | | |
| | | 教育相談 | 講義 | 2 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | 乳児保育Ⅰ | 講義 | 2 | | | | | 必修 | 8単位 | | | ○ | | |
| | | 乳児保育Ⅱ | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 子どもの健康と安全 | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | 障害児保育Ⅰ(含特別支援教育) | 演習 | 1 | | | | | | | ○ | | | | |
| | | 障害児保育Ⅱ(含特別支援教育) | 演習 | 1 | | | | | | | | ○ | | | |
| | | 社会的養護Ⅱ | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | | 子育て支援 | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | レクリエーション演習Ⅰ | 演習 | 1 | 選択 | | 選択 | | 選択 | | | | ○ | | |
| | | レクリエーション演習Ⅱ | 演習 | 1 | | | | | | | | | | ○ | |
| | 総合演習科目 | 保育・教職(幼稚園)実践演習 | 演習 | 2 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | 必修 | 2単位 | | | | ○ | |
| | 実習科目 | 教育実習指導(幼稚園) | 演習 | 1 | 必修 | 6単位 | 必修 | 6単位 | | | | ○ | | | |
| | | 教育実習(幼稚園)Ⅰ | 実習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | 教育実習(幼稚園)Ⅱ | 実習 | 4 | | | | | | | | | ○ | | 2年次:6月4週間 |
| | | 保育実習指導Ⅰ | 演習 | 2 | 必修 | 6単位 | | | 必修 | 6単位 | ○ | ○ | | | |
| | | 保育実習Ⅰ(保育所) | 実習 | 2 | | | | | | | | ○ | | | 1年次:2月 |
| | | 保育実習Ⅰ(施設) | 実習 | 2 | | | | | | | | ○ | | | 1年次:3月 |
| | | 保育実習指導Ⅱ | 演習 | 1 | 選択必修 | Ⅱ又はⅢのいずれかを選択する | | | 選択必修 | Ⅱ又はⅢのいずれかを選択する | | | ○ | | |
| | | 保育実習Ⅱ | 実習 | 2 | | | | | | | | | ○ | | 2年次:9月 |
| | | 保育実習指導Ⅲ | 演習 | 1 | | | | | | | | | ○ | | |
| | | 保育実習Ⅲ | 実習 | 2 | | | | | | | | | ○ | | 2年次:9月 |
| | 専門科目 計 | | | | 必修 | 68単位 | 必修 | 38単位 | 必修 | 54単位 | | | | | |
| | 1)選択必修 保育実習指導・保育実習のⅡ又はⅢのいずれかを修得す | | | | 1)選択必修 | 3単位 | | | 1)選択必修 | 3単位 | | | | | |
| | 2) 選択必修 選択必修科目♯から修得する。 | | | | 2)選択必修 | 2単位 | | | 2)選択必修 | 4単位 | | | | | |
| | | | | | | | 選択 | 4単位 | | | | | | | |
| 教養科目・専門科目 | | | | | | | 選択 | 10単位 | | | | | | | |
| 合計 | | | | | 86単位 | | 65単位 | | 72単位 | | | | | | |

# 履修登録単位数の上限除外科目一覧

CAP制度：１年間および半期で履修登録できる単位数の上限が決まっています。

**＜１年間では【４６単位】、半期では【２３単位】＞**

但し、下記理由に該当する科目は上限単位数から除外して計算します。

【除外科目としての理由】

①集中授業の選択科目

②卒業認定単位に含めない選択科目

③卒業認定単位に含めない教職科目

| 種類 | 科目名 | 単位数 | 理由 |
|---|---|---|---|
| 教養 | ボランティア理論 | 1 | ① |
| | ボランティア実習 | 1 | ① |
| | キャリアトレーニング | 1 | ① |
| | インターンシップ | 1 | ① |
| | オーストラリア英語研修 | 2 | ① |
| アウトドア実習 | マリンスポーツ実習 | 1 | ① |
| | キャンプ実習 | 1 | ① |
| | スキー実習 | 1 | ① |
| | スノーボード実習 | 1 | ① |
| 専攻実習 | 学校体験学習 | 1 | ① |
| | 健康づくり体験実習 | 1 | ① |
| | スポーツ医学演習（健康運動指導士等資格関連） | 1 | ① ② |
| | スポーツ健康学実習（健康運動指導士資格関連） | 1 | ① ② |
| | スポーツ関連施設実習(健康運動指導士等資格関連) | 1 | ① ② |
| 選択理論・実習 | アスレティックコンディショニング | 1 | ① |
| 教職科目 | 教職論 | 2 | ③ |
| | 教育原理 | 2 | ③ |
| | 教育行政学 | 2 | ③ |
| | 教育心理学 | 2 | ③ |
| | 特別支援教育概論 | 1 | ③ |
| | 道徳の指導法 | 2 | ③ |
| | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | ③ |
| | 特別活動の指導法 | 2 | ③ |
| | 教育の方法及び技術 | 2 | ③ |
| | 教育相談 | 2 | ③ |
| | 教職実践演習 | 2 | ③ |
| | 教育実習 | 5 | ③ |

## 履修登録単位数の上限除外科目一覧

CAP制度：１年間および半期で履修登録できる単位数の上限が決まっています。

＜１年間で【４６単位】＞

但し、下記理由に該当する科目は上限単位数から除外して計算します。

【除外科目としての理由】　①集中授業の選択科目　　②教職（資格関連）科目

| 種類 | 科目名 | 単位数 | 理由 |
|---|---|---|---|
| 教養 | オーストラリア英語研修 | 2 | ① |
| 領域科目 | 体つくり運動Ⅰa | 1 | ② |
| | 体つくり運動Ⅰb | 1 | ② |
| | 陸上競技Ⅰa | 1 | ② |
| | ダンスⅠa | 1 | ② |
| | ダンスⅠb | 1 | ② |
| | スポーツ原理 | 2 | ② |
| | スポーツ心理学 | 2 | ② |
| | ベーシックコーチング論 | 2 | ② |
| | アダプテッドスポーツ論 | 2 | ② |
| | スポーツ医学（含救急法、看護法） | 2 | ② |
| | 体育測定・統計 | 2 | ② |
| | 体力トレーニング論 | 2 | ② |
| | 体力トレーニング実習 | 1 | ② |
| | 運動処方論 | 2 | ② |
| | マリンスポーツ実習 | 1 | ① |
| | キャンプ実習 | 1 | ① |
| | スキー実習 | 1 | ① |
| | スノーボード実習 | 1 | ① |
| 教職科目 | 教師論 | 2 | ② |
| | 保育者・教師論 | 2 | ② |
| | 道徳の指導法 | 1 | ② |
| | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | ② |
| | 特別活動の指導法 | 1 | ② |
| | 特別支援教育概論 | 1 | ② |
| | 教育相談 | 2 | ② |
| | 教職実践演習 | 2 | ② |
| | 保育・教職（幼稚園）実践演習 | 2 | ② |
| | 教育実習（小） | 5 | ② |
| | 教育実習（幼稚園）Ⅰ | 1 | ② |
| | 教育実習（幼稚園）Ⅱ | 4 | ② |

# 履修登録単位数の上限除外科目一覧

CAP制度：１年間および半期で履修登録できる単位数の上限が決まっています。

**＜１年間で【４６単位】＞**

但し、下記理由に該当する科目は上限単位数から除外して計算します。

【除外科目としての理由】　①集中授業の選択科目　　②教職（資格関連）科目

| 種類 | 科目名 | 単位数 | 理由 |
|---|---|---|---|
| 教養 | オーストラリア英語研修 | 2 | ① |
| 領域科目 | 体つくり運動Ⅰa | 1 | ② |
| | 体つくり運動Ⅰb | 1 | ② |
| | 陸上競技Ⅰa | 1 | ② |
| | ダンスⅠa | 1 | ② |
| | ダンスⅠb | 1 | ② |
| | スポーツ原理 | 2 | ② |
| | スポーツ心理学 | 2 | ② |
| | ベーシックコーチング論 | 2 | ② |
| | アダプテッドスポーツ論 | 2 | ② |
| | スポーツ医学（含救急法、看護法） | 2 | ② |
| | 体育測定・統計 | 2 | ② |
| | 体力トレーニング論 | 2 | ② |
| | 体力トレーニング実習 | 1 | ② |
| | 運動処方論 | 2 | ② |
| | マリンスポーツ実習 | 1 | ① |
| | キャンプ実習 | 1 | ① |
| | スキー実習 | 1 | ① |
| | スノーボード実習 | 1 | ① |
| 教職科目 | 保育者・教師論 | 2 | ② |
| | 特別支援教育概論 | 1 | ② |
| | 教育相談 | 2 | ② |
| | 保育・教職（幼稚園）実践演習 | 2 | ② |
| | 教育実習（幼稚園）Ⅰ | 1 | ② |
| | 教育実習（幼稚園）Ⅱ | 4 | ② |
| | 保育実習Ⅰ（保育所） | 2 | ② |
| | 保育実習Ⅰ（施設） | 2 | ② |
| | 保育実習Ⅱ | 2 | ② |
| | 保育実習Ⅲ | 2 | ② |

# Ⅵ　教育課程・保育士課程

## Ⅵ-1　本学で取得できる教育職員免許状・保育士資格

| | |
|---|---|
| (1)大学　体育学部体育学科 | 高等学校教諭一種免許状(保健体育)<br>中学校教諭一種免許状(保健体育) |
| (2)短期大学<br>こどもスポーツ教育学科 | 小学校教諭二種免許状<br>幼稚園教諭二種免許状<br>保育士資格 |

## Ⅵ-2　教育職員免許状・保育士資格の取得要件

**(1) 教育職員免許状**

教育職員免許状を取得するには、次の事項を全て満たすことが必要です。

① 大学又は短期大学を卒業する。
② 教育職員免許状取得に必要な全ての授業科目の単位を修得する。
③ 教育実習を履修する。
④ 介護等体験を行う(ただし、小・中学校教諭の免許状のみ)。
⑤ 教育職員免許状の授与申請をする。

**(2) 保育士資格**

保育士資格を取得するには、次の事項を全て満たすことが必要です。

① 短期大学を卒業する。
② 保育士資格取得に必要な全ての授業科目の単位を修得する。
③ 保育実習を履修する。
④ 保育士資格の登録申請をする。

## Ⅵ-3　必要な履修科目

教育職員免許状・保育士資格を取得するのに必要な履修科目及び単位数は 30～37 頁を参照すること。

## Ⅵ-4　教育実習

**(1)履修学年**

卒業年次

**(2)時期及び期間**

原則として 5～6 月に教育実習を行います。

期間は大学が 3 週間、こどもスポーツ教育が 4 週間です。

**(3)実習校**

実習する年度の前年の 6 月末までに自分で内諾を得ます。

**(4)履修条件**

① 教員を志望し、教育実習を真剣に履修しようとする強い意思をもっている。
② 心身ともに健康である。
③ 卒業見込み単位を修得している。
④ オリエンテーション、その他教育実習の事前指導に出席している。
⑤ 教育実習を行うまでに、次の科目が取得済みである。

〔高等学校又は中学校で実習する場合〕

教職論、教育原理、教育心理学、保健体育科教育法（体育）Ⅰ、保健体育科教育法（体育）Ⅱ、保健体育科教育法（保健）Ⅰ、保健体育科教育法（保健）Ⅱ

〔小学校で実習する場合〕

教師論、教育原理、発達心理学、国語科教育法、社会科教育法、算数科教育法、理科教育法、各教科の指導法（音楽・図画工作・体育のうち２科目）

〔幼稚園で実習する場合〕

子どもと人間関係、保育内容（人間関係）指導法、教育実習指導（幼稚園）

上記の条件を満たさない場合は、原則として教育実習の履修を認めていません。

その他教育実習に関する詳細は、大学は 2 年次の 2 月、短大は 1 年次の 4 月に配付する「教育実習の手引き」を参照してください。

**※科目等履修生の教育実習に関する条件は、別途ガイダンスで説明します。**

## Ⅵ-5　保育実習

| | |
|---|---|
| (1)履修学年・時期 | 1 年次 2 月及び 3 月<br>2 年次 9 月 |
| (2)日数（時間数） | おおむね 10 日間 |
| (3)実習先 | 配属実習として学校が実習先を指定します。 |
| (4)履修条件 | 保育実習を行うまでに、次の科目が取得済みである。<br>〔保育実習Ⅰ(保育所)〕1 年次 2 月<br>保育原理（1 年前期）<br>〔保育実習Ⅰ(施設)〕1 年次 3 月<br>子ども家庭福祉（1 年後期）<br>〔保育実習Ⅱ(保育所)〕2 年次 9 月<br>保育実習Ⅰ(保育所)（1 年後期）<br>〔保育実習Ⅲ(施設)〕2 年次 9 月<br>保育実習Ⅰ(施設)（1 年後期） |

## Ⅵ-6　介護等体験

小学校及び中学校の教諭の免許状を取得しようとする学生は、介護等体験を実施することが義務づけられています。

| | |
|---|---|
| (1)実施学年 | ①　大学　2～4 学年（原則、3 学年で実施）<br>②　短期大学　1 学年 |
| (2)体験期間 | ①　特別支援学校　2 日間<br>②　社会福祉施設　5 日間 |
| (3)体験の主な内容 | ①　特別支援学校　児童・生徒の介護・介助・交流、運動会や文化祭の手伝い、プール指導、遠足・校外学習の付添い等 |

| | |
|---|---|
| | ②　社会福祉施設　施設利用者の介護・介助・交流、施設の作業・行事等の業務補助、掃除・洗濯等の手伝い<br>詳細は、別冊「介護等体験の手引き」を参照すること。 |
| **(4)実施要件** | ① 教員を志望し、介護等体験を真剣に履修しようとする強い意思をもっていること。<br>② 卒業見込み単位を履修していること（2 年終了時 80 単位を目安とする)。<br>③ オリエンテーション、その他の介護等体験の事前指導に全て出席すること。<br>④ 介護等体験で十分な体験ができなかった場合は、教育実習を実施できない場合がある。<br>⑤ 介護等体験を行うまでに下記科目が未履修の場合は、特別な事情がある場合を除いて介護等体験の実施を認めない。<br>1. スポーツ原理 2. スポーツ心理学 3. スポーツ史 4. 生理学<br>5. 教職論 |

## Ⅵ-7　教育職員免許状の申請手続

教育職員免許状の申請は通常個人が行うものですが、条件を満たす学生については、大学・短期大学が一括して東京都教育委員会に申請することにより、卒業と同時に免許状を取得することができます。この場合、次の手続が必要になります。

| | | |
|---|---|---|
| (1) | 教育職員免許状申請ガイダンス出席 | 卒業年次の 7 月中旬 |
| (2) | 教育職員免許状授与に伴う宣誓の署名 | 〃　〃 |
| (3) | 教育職員免許状授与申請手数料の納入 | 〃　10 月下旬 |

## Ⅵ-8　保育士資格の申請手続

保育士資格の申請は原則として個人が行うものですが、特別措置として、短期大学(指定保育士養成施設)が一括して保育士登録機関・登録事務処理センターへ登録申請することにより、資格を取得することができます。この場合、次の手続が必要になります。

| | | |
|---|---|---|
| (1) | 保育士資格申請ガイダンス出席 | 卒業年次の 9 月下旬 |
| (2) | 登録手数料払込 | 〃　10 月中旬 |
| (3) | 卒業(修了)見込証明書 | 〃　〃 |

# 教育職員免許状を取得するための要件科目

**中学校教諭一種免許状（保健体育）**

**高等学校教諭一種免許状（保健体育）**

| 免許法施行規則の区分 | | | | 最低単位 | 科目等履修生 授業科目 | 単位 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教科及び教職に関する科目 | 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 体育実技 | 28・24 | 体つくり運動Ｉａ | 1 | |
| | | | | | 水泳Ｉａ | 1 | |
| | | | | | 器械運動Ｉａ | 1 | |
| | | | | | 陸上競技Ｉａ | 1 | |
| | | | | | ダンスＩａ | 1 | |
| | | | | | 球技（バレーボール）<br>球技（バスケットボール） | 1 | １科目<br>選択必修 |
| | | | | | 球技（ソフトボール・ハンドボール）<br>球技（テニス・バドミントン） | 1 | １科目<br>選択必修 |
| | | | 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法を含む。） | | スポーツ原理 | 2 | |
| | | | | | スポーツ心理学 | 2 | |
| | | | | | スポーツマネジメント論 | (2) | |
| | | | | | スポーツ社会学 | (2) | |
| | | | | | スポーツ史 | 2 | |
| | | | | | スポーツ運動学（含運動方法） | 2 | |
| | | | 生理学（運動生理学を含む。） | | 生理学 | 2 | |
| | | | | | スポーツ生理学 | 2 | |
| | | | 衛生学及び公衆衛生学 | | 衛生学及び公衆衛生学 | 2 | |
| | | | 学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。） | | 学校保健（含小児保健・精神保健、学校安全） | 2 | |
| | | | | | スポーツ医学（含救急・看護法） | 2 | |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | | | 保健体育科教育法（体育）Ⅰ | 2 | |
| | | | | | 保健体育科教育法（体育）Ⅱ | 2 | |
| | | | | | 体育実技指導研究 | 2 | |
| | | | | | 保健体育科教育法（保健）Ⅰ | 2 | |
| | | | | | 保健体育科教育法（保健）Ⅱ | 2 | |
| | 計　中学２８単位　高校２４単位 | | | | 計 | 35 | |
| | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | | 10 | 教育原理 | 2 | |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） | | | 教育行政学 | 2 | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（ﾁｰﾑ学校運営への対応を含む。） | | | 教職論 | 2 | |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | | 教育心理学 | 2 | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | | 特別支援教育概論 | 1 | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法（ｶﾘｷｭﾗﾑ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを含む。） | | | 教育課程論 | 2 | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳の理論及び指導法 | | 10・8 | 道徳の指導法 | 2 | |
| | | 総合的な学習の時間の指導法 | | | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | |
| | | 特別活動の指導法 | | | 特別活動の指導法 | 2 | |
| | | 教育の方法及び技術 | | | 教育の方法及び技術 | 2 | |
| | | 情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法 | | | ICT活用教育に関する理論及び方法 | 2 | |
| | | 生徒指導の理論及び方法<br>進路指導及びｷｬﾘｱ教育の理論及び方法 | | | 生徒指導論（含進路指導） | 2 | |
| | | 教育相談（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 | | | 教育相談 | 2 | |
| | 教育実践に関する科目 | 教育実習 | | 5 | 教育実習 | 5 | |
| | | 教職実践演習 | | 2 | 教職実践演習（中・高） | 2 | |
| | 計　中学２７単位　高校２３単位 | | | | | 31 | |
| | 大学が独自に設定する科目　（中学４単位　高校１２単位） | | | 4・12 | | | 「教科及び教職に関する科目」（大学が独自に設定する科目を除く）のうち最低単位を超える単位を充当 |
| 計 | | | | | 計 | 66 | |
| 文部科学省令で定める科目 | 日本国憲法 | | | 2 | 日本国憲法 | 2 | |
| | 体育 | | | 2 | マリンスポーツ実習<br>キャンプ実習<br>スキー実習<br>スノーボード実習 | 1 | ４実習のうち１実習選択必修 |
| | | | | | 武道（柔道）<br>武道（剣道） | 1 | １科目<br>選択必修 |
| | 外国語コミュニケーション | | | 2 | 外国語コミュニケーションⅠ | 1 | |
| | | | | | 外国語コミュニケーションⅡ | 1 | |
| | 情報機器の操作 | | | 2 | 情報リテラシー | 2 | |
| 計 | | | | 8 | 合　計 | 74 | |

# 教育職員免許状を取得するための要件科目

## 小学校教諭二種免許状

| 免許法施行規則の区分 | | | 最低単位 | 科目等履修生 授業科目 | 単位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教科及び教職に関する科目 | 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 16 | 国語（含書写） | 2 | ①・②の条件を充たした上で16単位以上修得すること。<br>①「教科に関する専門的事項」の科目のから1科目以上修得すること。<br>②「各教科の指導法に関する科目（音楽、図画工作、体育のうち2以上を含む。）」から6科目以上修得すること。 |
| | | | | 社会 | 2 | |
| | | | | 算数 | 2 | |
| | | | | 理科 | 2 | |
| | | | | 生活 | 2 | |
| | | | | 音楽A | 1 | |
| | | | | 音楽BⅠ | (1) | |
| | | | | 図画工作Ⅰ | 1 | |
| | | | | 体育 | 1 | |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | | 国語科教育法 | 2 | |
| | | | | 社会科教育法 | 2 | |
| | | | | 算数科教育法 | 2 | |
| | | | | 理科教育法 | 2 | |
| | | | | 生活科教育法 | (2) | |
| | | | | 音楽科教育法 | 2 | |
| | | | | 図画工作科教育法 | 2 | |
| | | | | 家庭科教育法 | (2) | |
| | | | | 体育科教育法 | 2 | |
| | | | | 小学校英語教育法 | (2) | |
| | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 6 | 教育原理（含学校の制度と経営） | 2 | |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） | | | | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（ﾁｰﾑ学校運営への対応を含む。） | | 教師論 | 2 | |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | 発達心理学 | 2 | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | 特別支援教育概論 | 1 | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法（ｶﾘｷｭﾗﾑ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを含む。） | | 教育課程論 | 2 | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳の理論及び指導法 | 6 | 道徳の指導法 | 1 | |
| | | 総合的な学習の時間の指導法 | | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | |
| | | 特別活動の指導法 | | 特別活動の指導法 | 1 | |
| | | 教育の方法及び技術 | | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) | 2 | |
| | | 情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法 | | | | |
| | | 生徒指導の理論及び方法 | | 生徒指導論（含進路指導） | 2 | |
| | | 進路指導及びｷｬﾘｱ教育の理論及び方法 | | | | |
| | | 教育相談（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 | | 教育相談 | 2 | |
| | 教育実践に関する科目 | 教育実習 | 5 | 教育実習（小） | 5 | |
| | | 教職実践演習 | 2 | 教職実践演習 | 2 | |
| | 大学が独自に設定する科目 | | 2 | | | 「教科及び教職に関する科目」（大学が独自に設定する科目を除く）のうち最低単位を超える単位を充当 |
| 計 | | | 37 | 計 | 52 | |
| 文部科学省令で定める科目 | | 日本国憲法 | 2 | 日本国憲法 | 2 | |
| | | 体育 | 2 | 体育理論 | 1 | |
| | | | | 体育実技（含水泳） | 1 | |
| | | 外国語コミュニケーション | 2 | 英語コミュニケーションⅠ | 1 | |
| | | | | 英語コミュニケーションⅡ | 1 | |
| | | 情報機器の操作 | 2 | 情報機器演習Ⅰ | 1 | |
| | | | | 情報機器演習Ⅱ | 1 | |
| 計 | | | 45 | 合　計 | 60 | |

# 教育職員免許状を取得するための要件科目

## 幼稚園教諭二種免許状

| 免許法施行規則の区分 | | | 最低単位 | 科目等履修生 授業科目 | 単位 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教科及び教職に関する科目 | 領域及び保育内容の指導法に関する科目 | 領域に関する専門的事項 | 12 | 子どもと健康 | 1 | １２単位以上修得 |
| | | | | 子どもと人間関係 | 1 | |
| | | | | 子どもと環境 | 1 | |
| | | | | 子どもと表現 | 1 | |
| | | 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） | | 保育内容総論 | 1 | |
| | | | | 保育内容（健康）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（人間関係）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（環境）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（言葉）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（身体表現）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（音楽表現）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（造形表現）指導法 | 1 | |
| | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想<br>教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） | 6 | 教育原理（含学校の制度と経営） | 2 | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（ﾁｰﾑ学校運営への対応を含む。） | | 保育者・教師論 | 2 | |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | 発達心理学 | 2 | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | 特別支援教育概論 | 1 | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法（ｶﾘｷｭﾗﾑ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを含む。） | | 保育・教育課程論 | 2 | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | 4 | 教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む） | 2 | |
| | | 幼児理解の理論及び方法 | | 幼児理解 | 1 | |
| | | 教育相談（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 | | 教育相談 | 2 | |
| | 教育実践に関する科目 | 教育実習 | 5 | 教育実習指導（幼稚園） | (1) | |
| | | | | 教育実習（幼稚園）Ⅰ | 1 | |
| | | | | 教育実習（幼稚園）Ⅱ | 4 | |
| | | 教職実践演習 | 2 | 保育・教職（幼稚園）実践演習 | 2 | |
| | 大学が独自に設定する科目 | | 2 | | | 教科及び教職に関する科目（大学が独自に設定する科目を除く）のうち最低単位を超える単位を充当 |
| 計 | | | 31 | 計 | 33 | |
| 文部科学省令で定める科目 | | 日本国憲法 | 2 | 日本国憲法 | 2 | |
| | | 体育 | 2 | 体育理論 | 1 | |
| | | | | 体育実技（含水泳） | 1 | |
| | | 外国語コミュニケーション | 2 | 英語コミュニケーションⅠ | 1 | |
| | | | | 英語コミュニケーションⅡ | 1 | |
| | | 情報機器の操作 | 2 | 情報機器演習Ⅰ | 1 | |
| | | | | 情報機器演習Ⅱ | 1 | |
| 合　　計 | | | 39 | 合　　計 | 41 | |

# 教育職員免許状を取得するための要件科目

**小学校及び幼稚園教諭二種免許状**

| 免許法施行規則の区分 | | | 最低単位 | 科目等履修生 授業科目 | 単位 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教科及び教職に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | | 24 | 国語（含書写） | 2 | ①・②の条件を充たした上で１６単位以上修得する。<br><br>①「教科に関する専門的事項」の科目のから１科目以上修得する。<br><br>②「各教科の指導法に関する科目（音楽、図画工作、体育のうち２以上を含む。）」から６科目以上修得すること。 |
| | | | | 社会 | 2 | |
| | | | | 算数 | 2 | |
| | | | | 理科 | 2 | |
| | | | | 生活 | 2 | |
| | | | | 音楽A | 1 | |
| | | | | 音楽BⅠ | (1) | |
| | | | | 図画工作Ⅰ | 1 | |
| | | | | 体育 | 1 | |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | | | 国語科教育法 | 2 | |
| | | | | 社会科教育法 | 2 | |
| | | | | 算数科教育法 | 2 | |
| | | | | 理科教育法 | 2 | |
| | | | | 生活科教育法 | (2) | |
| | | | | 音楽科教育法 | 2 | |
| | | | | 図画工作科教育法 | 2 | |
| | | | | 家庭科教育法 | (2) | |
| | | | | 体育科教育法 | 2 | |
| | | | | 小学校英語教育法 | (2) | |
| | 領域に関する専門的事項 | | | 子どもと健康 | 1 | ③・④の条件を充たした上で１２単位以上修得する。<br><br>③「領域に関する専門事項」から１科目以上修得すること。 |
| | | | | 子どもと人間関係 | 1 | |
| | | | | 子どもと環境 | 1 | |
| | | | | 子どもと表現 | 1 | |
| | 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） | | | 保育内容総論 | 1 | |
| | | | | 保育内容（健康）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（人間関係）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（環境）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（言葉）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（身体表現）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（音楽表現）指導法 | 1 | |
| | | | | 保育内容（造形表現）指導法 | 1 | |
| | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想<br>教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） | 6 | 教育原理（含学校の制度と経営） | 2 | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（ﾁｰﾑ学校運営への対応を含む。） | | 教師論 | 2 | |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | 発達心理学 | 2 | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | 特別支援教育概論 | 1 | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法（ｶﾘｷｭﾗﾑ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを含む。） | | 教育課程論 | 2 | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳の理論及び指導法 | 6 | 道徳の指導法 | 1 | |
| | | 総合的な学習の時間の指導法 | | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | |
| | | 特別活動の指導法 | | 特別活動の指導法 | 1 | |
| | | 教育の方法及び技術<br>情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法 | | 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) | 2 | |
| | | 幼児理解の理論及び方法 | | 幼児理解 | 1 | |
| | | 生徒指導の理論及び方法<br>進路指導及びｷｬﾘｱ教育の理論及び方法 | | 生徒指導論（含進路指導） | 2 | |
| | | 教育相談（ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 | | 教育相談 | 2 | |
| | 教育実践に関する科目 | 教育実習 | 5 | 教育実習（小） | 5 | |
| | | 教職実践演習 | 2 | 教職実践演習 | 2 | |
| | 大学が独自に設定する科目 | | 2 | | | 教科及び教職に関する科目（大学が独自に設定する科目を除く）のうち最低単位を超える単位を充当 |
| 計 | | | 45 | 計 | 65 | |
| 文部科学省令で定める科目 | | 日本国憲法 | 2 | 日本国憲法 | 2 | |
| | | 体育 | 2 | 体育理論 | 1 | |
| | | | | 体育実技（含水泳） | 1 | |
| | | 外国語コミュニケーション | 2 | 英語コミュニケーションⅠ | 1 | |
| | | | | 英語コミュニケーションⅡ | 1 | |
| | | 情報機器の操作 | 2 | 情報機器演習Ⅰ | 1 | |
| | | | | 情報機器演習Ⅱ | 1 | |
| 合　　計 | | | 51 | 合　計 | 73 | |

# Ⅶ　取得可能な資格

## Ⅶ-1　資格取得の意義

本学は多種多様な資格を在学中に取得することができます。自分のキャリアのために何が必要か、どれを選ぼうかと考えることは、キャリア形成をする上で大切なことです。また、資格取得のための学びは、社会人として役立つ知識や教養の獲得につながります。学生のうちに、自分自身に適した資格の取得を推奨しています。

## Ⅶ-2　取得できる資格

本学では、定められた授業科目を履修することにより、卒業と同時に教育職員免許状や保育士資格を取得することができます。また、本学は様々なスポーツ関連の指導者資格養成校として認定されており、必要な授業科目を履修することにより、卒業までに各種指導者の資格認定試験を受験することができます。

なお、こうした資格以外にも、「資格取得対策講座」を開設するなどして、個々の学生の資格取得支援を行っています。

| | 資格名 | 大学<br>体育学部 | 短期大学 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | こどもスポーツ教育学科 | |
| | | 体育学科 | こども教育コース | スポーツ教育コース |
| スポーツ系資格 | スポーツコーチングリーダー(共通科目)※1 | 共通科目Ⅲ<br>◎ | 共通科目Ⅰ<br>◎ | 共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ<br>◎ |
| | ジュニアスポーツ指導員 | ◎ | ◎ | ◎ |
| | スポーツプログラマー | ◎ | | ◎ |
| | 健康運動指導士 | ◎ | | |
| | 健康運動実践指導者 | ◎ | | |
| | 初級パラスポーツ指導員 | ● | ● | ● |
| | トレーニング指導者(JATI-ATI) | ◎ | | |
| | JPSUスポーツトレーナー | ◎ | | |
| | スポーツ・レクリエーション指導者 | ● | | |
| | レクリエーション・インストラクター | ● | ● | ● |

●…定められた科目を履修し、卒業することによって取得できる資格

◎…指定科目を履修することにより、在学中に受験することができる資格

※1　スポーツコーチングリーダー（共通科目）にはⅠ～Ⅲまでの種類があります。

・共通科目Ⅱを取得した場合、共通科目Ⅰも自動的に取得したとみなされます。

・共通科目Ⅲを取得した場合、共通科目Ⅰ・Ⅱも自動的に取得したとみなされます。

※2　上記の資格は、所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。教育職員免許状・保育士資格は前項の「教育課程・保育士課程」36頁を参照し、他の資格の詳細はキャリア支援課より配付される「資格取得の手引き」を参照してください。

＜認定団体＞
（公財）日本スポーツ協会
（公財）健康・体力づくり事業財団
（公財）日本パラスポーツ協会
（特非）日本トレーニング指導者協会
（一社）全国体育スポーツ系大学協議会
（公財）日本レクリエーション協会

なお、本学では理学療法士や作業療法士、鍼灸等の国家資格取得希望者への進路支援として専門学校と協定を結んでおり、推薦（指定校）制度や入学金、学費等の費用が免除・減免される制度があります。

社会医学技術学院においては、本学在学時から科目履修生として学ぶことができると同時に、本学での授業の一部が単位互換される制度があります。詳しくはキャリアセンターで確認してください。

・学校法人日本リハビリテーション学舎　専門学校社会医学技術学院
学科：理学療法学科昼間部、理学療法学科夜間部、作業療法学科
資格：理学療法士、作業療法士

・学校法人呉竹学園　東京呉竹医療専門学校
学科：鍼灸マッサージ科、鍼灸科、柔道整復科、鍼灸マッサージ教員養成科
資格：あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師

・学校法人衛生学園　東京衛生学園専門学校
学科：東洋医療総合学科、リハビリテーション学科、看護学科
資格：理学療法士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、看護師

# Ⅷ　ポータルサイト「UNIVERSAL　PASSPORT」

本学では、大学からの連絡事項や履修登録・授業・出席管理において、ポータルサイト「UNIVERSAL　PASSPORT」を活用しています。活用するにあたって、下記を参照しアプリをインストールしましょう。また、ポータルサイト「UNIVERSAL　PASSPORT」は本学のホームページ内のリンクからも閲覧できます。

## Ⅷ-１　アプリのインストール

アプリ「UNIPA」を下記 QR コードからインストールしてください。

iPhone の場合

Android の場合

## Ⅷ-２　アプリの起動手続き

アプリ「UNIPA」をタップして、次の画面にて下記 URL を入力してください。

URL：https://unipa.twcpe.ac.jp/uprx

iPhone の場合

Android の場合

## Ⅷ-３　アプリにログイン

ログイン画面で、ユーザ ID(学籍番号 6 桁)とパスワード(初期値は生年月日 8 桁)を入力してください。なお、パスワードは初期値から各自で設定し直すことができます。

2025 履修ナビ

| | |
|---|---|
| 発行日 | 2025 年 4 月 |
| 発　行 | 東京女子体育大学<br>東京女子体育短期大学<br>教　務　課<br>〒186-8668 国立市富士見台 4-30-1<br>電話　042-573-7452 |
| 印　刷 | 明誠企画株式会社 |